

## シュピーゲル：対ロシア制裁 今回の延長が最後となる可能性がある

(スプートニク 2016年06月23日 13:29)

© Sputnik/ Irina Kalashnikova <http://bit.ly/28QwZ21>

EUは、ウクライナ危機を理由に発動した対ロシア制裁を延長しているが、この措置はその主な目的を達成しなかった。デア・シュピーゲルが伝えた。デア・シュピーゲルは、東欧諸国はロシアに対する強硬路線を支持しているが、フランス、ドイツ、イタリアなどの代表者は、対ロシア制裁の段階的な緩和を支持することが多くなっていると指摘している。デア・シュピーゲルは、EUによる今回の制裁延長が最後になる可能性があるかと予測している。

デア・シュピーゲルはまた、ミンスク合意を履行するためにはウクライナ政府の積極的な活動が必要であるため、ロシアが独自にミンスク合意の履行を保証することはできないと強調している。なおブリュッセルの複数の観測筋によると、ウクライナ政府は対ロシア制裁のさらなる延長を支持しており、対話を目指してはいないと考えている。

<http://bit.ly/28UHRzG>

## 北朝鮮 弾道ミサイル発射実験は成功したと報道する

(スプートニク 2016年06月23日 14:51)

© REUTERS/ Damir Sagolj <http://bit.ly/2921C6G>

北朝鮮は、22日の「弾道ロケット」発射実験に成功したと報じた。発射実験は、北朝鮮の金正恩第1書記が視察した。韓国の聯合ニュースが、北朝鮮の朝鮮中央通信などの情報を引用して伝えた。聯合ニュースによると、金第1書記は「太平洋作戦地帯内の米国のやつらを全面的かつ現実的に攻撃できる確実な能力を持つことになった」と述べたという。北朝鮮メディアは、発射実験したミサイルを「戦略弾道ロケット『ファソン（火星）10』』と呼んだ。北朝鮮は22日、日本海に面した東部ウォンサン（元山）付近からミサイル2発を発射した。

<http://bit.ly/28QRpZc>

## 米国 北朝鮮の脅威に対応するため韓国でMDシステム拡大へ

(スプートニク 2016年06月23日 15:46)

© REUTERS/ Damir Sagolj <http://bit.ly/28Qxmd2>

米国は、北朝鮮の脅威に対応するための韓国のミサイル防衛を保証するために、朝鮮半島でミサイル防衛（MD）網の拡大を続ける計画。米国のカーター国防長官が発表した。カーター国防長官

は、北朝鮮が 22 日に弾道ミサイル 2 発の発射実験を行ったのを受けて記者団に、「これは我々がすでに行っていることを継続する必要性を証明している。（我々は）現在の同盟国の韓国と、朝鮮半島や日本そして米領にいる米軍を守ることを可能とするそのようなミサイル防衛システムをつくる」と語った。

カーター長官は、「我々は、私たちのMDシステムが、ただ質のよさだけでなく、絶えず拡大されていることを確信して、脅威に先手を打たなければならない」と述べた。

<http://bit.ly/28Up71T>

## NYT：米務省で「ユーゴスラビアのシナリオ」によるシリア空爆が呼びかけられる

(スプートニク 2016 年 06 月 23 日 17:43)

© AP Photo/ Lefteris Pitarakis <http://bit.ly/10mzWv4>

米務省の職員たちは、同省の指導部宛ての書簡で、シリア政府軍を「ユーゴスラビアのシナリオ」で攻撃するよう提案した。ニューヨーク・タイムズ紙が報じた。同紙は書簡のテキストを入手した。

先週、米務省の役人約 50 人が、シリア政府軍への空爆開始を呼びかける、内部用とされたメモランダムに署名したことが明らかとなった。米務省の役人たちは、これがテロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国、ロシアで活動が禁止されている組織）」と戦い、シリアに平和をもたらす唯一の手段だと指摘している。米務省のジョン・カービー報道官は呼びかけの事実を認めたが詳細については明らかにせず、ただ指導部が検討していると指摘した。

攻撃は特に巡航ミサイルで行うことが提案されている。巡航ミサイルは遠くから発射することができるため、シリア政府軍はこのような攻撃に対応することができない。米国主導のNATO軍は1999年、ユーゴスラビアでの作戦でまさにこのような形で行動し、ユーゴスラビア当局に政治対話の開始を余儀なくさせ、コソボの独立宣言で幕を閉じた。

NYTのジャーナリスト、マックス・フィッシャー氏は書簡のテキストについて、「複数の人たちは、（シリアでの）戦争にはロシアとイランが積極的に参加しているためこのような比較は間違っていると語り、米国のあらゆる攻撃を除去するためにロシアとイランがシリア軍への支援活動を強化する可能性があるとの見方を示している」コメントした。

フィッシャー氏はまた、書簡にはシリア紛争が終了するために解決する必要がある重要な問題が欠落していると指摘し、「書簡では、和平合意がどのようなべきかについての同盟国間の深い意見の相違を取り除く方法についてさえ述べられていない。書簡では、ロシアが間違いなく国連でブロックするであろう、シリアに対する戦争の法的根拠が提示されていない。書簡では、シリア政府を崩壊させることなくアサド大統領を退陣させる方法について述べられていない。書簡はむしろ

具体的な代替手段を提案するよりも、現行政策への失望あるいは憤りを確認させている」と主張している。

<http://bit.ly/28Rsh5k>

## 英、EU離脱問う国民投票始まる

(スポーツニク 2016年06月23日 21:17)

© AFP 2016/ Chris J Ratcliffe <http://bit.ly/28QzbGX>

イギリスで欧州連合離脱か残留かを問う国民投票のための投票所が開いた。BBCが報じた。国民投票参加の登録人数は過去最高の4,700万人。国民投票で問われる問題はこのようなものだ。「イギリスはEUに残らねばならないのか、それとも離脱しなければならないのか？」

国民投票に参加できるのはイギリス在住のイギリス人やアイルランド人、英連邦市民、そして国外に住むイギリス人だ。投票は22時（日本時間6時）に始まる。選管は6月24日、イギリスで仕事が始まるまでに国民投票の結果を発表するとされている。

[twitter.com/](https://twitter.com/) <http://bit.ly/28UJmhz>

<http://bit.ly/28TEtpF>

## 英離脱の3つのシナリオ—EU離脱にメリットはあるか？

(スポーツニク 2016年06月23日 21:40)

© Flickr/ Rareclass <http://bit.ly/28QTX9F>

イギリスの財務大臣は、イギリスがEUから離脱した場合のビジネス関係発展の、可能性のある3つのシナリオを計算した。

1つ目の可能性によると、イギリスは欧州経済領域（EFA）との協力の一環に、EUとの貿易関係を組み込む。この場合、イギリスの国内総生産は15年後には、EUに留まった場合に比べて、3.8%低くなる。各家庭の損益は平均で年2,200ポンドとなる。

2つ目の可能性は、EUとの二国間貿易協定だ。この場合イギリスの国内総生産は2030年までに6.2%減少し、家庭は年4,300ポンドずつ失うだろう。

3つ目の可能性は、世界貿易機関（WTO）のルールの中での貿易関係だ。これは最も損益の多いモデルで、国内総生産は7.5%減少、家族の損益は年5,200ポンドとなる。

EU離脱派はイギリスは将来より利益をもたらす貿易協定をEUブロック経済圏に入っていない各国と結ぶことができ、イギリスの孤立した立ち位置は経済的により利益を得るものになるとしている。

twitter.com/ <http://bit.ly/28UJmhz>

<http://bit.ly/28QUvw1>

## **BREXITが「ゲーム・オブ・スローンズ」に打撃を与える**

(スプートニク 2016年06月23日 21:45)

© AP Photo/ HBO, Macall B. Polay <http://bit.ly/2926kkF>

23日、英国でEUからの離脱の是非を問う国民投票が実施されている。インディペンデント紙によると、英国人がEUからの離脱を決めた場合、米国のケーブルテレビ局が制作している人気のテレビドラマ「ゲーム・オブ・スローンズ」が脅威にさらされる可能性があるという。

「ゲーム・オブ・スローンズ」の主な撮影地は、英国の構成要素の一つである北アイルランド。英国は現在、欧州地域開発基金（ERDF）から助成金を受けているが、英国がEUから離脱した場合、助成金は支払われなくなる。

その結果、テレビドラマの制作費がはるかに増え、プロデューサーは撮影を継続するために他の場所を見つけなければならなくなる可能性があるという。

一方でインディペンデント紙は、「ゲーム・オブ・スローンズ」のような大規模なテレビドラマは、たとえ困難があったとしても危機を乗り越えることができるだろうとの見方を示している。

<http://bit.ly/28Rjss9>

## **日本にもロシアにもある逆切れワーカーホリック**

(スプートニク 2016年06月24日 00:54 リュドミラ・サーキャン)

© Flickr/ hiroo yamagata <http://bit.ly/2926TuW>

ノルウェーのベルゲン大学が先日、発表した調査結果は、ワーカーホリックと精神的異常の相関関係を浮き彫りにした。ワーカーホリックになる人は精神異常を抱えていることが多く、恐怖感にさいなまされ、鬱になりやすく、理由もなく攻撃的になったり、自殺に走ることもさへある。

労働熱心なのはどこでも高く評価され、ワーカーホリックは時に間違っ、過剰な責任感の持ち主だの、目的に邁進する人間で仕事の虫だととらえられる。これが特に顕著なのはメガロポリスで、こういった大都会では仕事から離れ、リラックスするチャンスに乏しい。その結果、必要性から、または自分から仕事の山を抱える人たちは「逆切れコンプレックス」または学術的には医療者らの言う21世紀の病、燃え尽き症候群に罹ってしまう。

日本ではこれは時に異常なほど行き過ぎた形をとってしまう。緩慢な仕事ぶり、がんばらない、力を節約するというのは日本人の考えでは一番大きな罪だ。こういう人はすぐさま社会でふかふかと浮くか、非難的になる。とはいっても人間の力は際限がないわけではない。それに限界だって必ずくる。一番顕著な例があまりの緊張に死にいたるケースだ。経済大国の中で日本はこの問題に最初につきあつた。「カロウシ（過労死）」という言葉はもう世界共通のボキャブラリーになっている。

もちろん日本人たちの間にだって怠け者もいるし、なんの役にも立たない、働く力のない人もいる。だがそんな彼らだって日本社会の大事なきまりをよくよく心得ている。それは建前として勤勉らしく振舞うことも本物の勤勉に巻けず劣らず重要だということだ。日本のとある大企業での勤務経験がある米国人、G・レイノルド氏はそれを次のように描写している。

「日本人は実際、どれだけ仕事が溜まっているか、いないかに関わらず職場ではものすごく忙しいふりをしていなければならないと思っている。これを見せるにはとにかくせかせかと早足で動き回るのが一番だ。3メートル先にあるプリンターにたどり着くのに歩くのではなく走るとか、ビジネスレターを書くのにキーボードを猛烈に叩くとか。その人が本当に仕事熱心さであるということも、その外見も同じように勤勉であるという『徳』につりあっていないなければならない。このためせかせかした働きぶりも軽いパニック状態も周囲の人間に自分のものすごい仕事量を示し、これぞ理想のサラリーマンというところを見せるためには大切なのだ。」

絶え間ない競争と変化への迅速な対応が求められる市場経済への道にロシアが歩みだしたのは日本よりずっと後だ。今やロシアの企業が社員に求めるのは単なる勤勉さにとどまらない。速攻のレスポンスも一度に複数の仕事をこなす能力も求められている。職場で常に緊張が続くために、統計ではロシア人のほぼ25%が慢性の疲労感に悩まされている。

心理学者のエカテリーナ・レーヴィン氏は次のような見解を表している。

「燃え尽き症候群は我々の時代の深刻な問題だ。今我々は経済危機のただなかにある。社会的、物質的に安定した状態がいつまで続くのかわからず、失業しかねない不安を抱えている。権威が高く、給与の高い仕事につく競争は激化し、仕事量も増えていく…。その結果、これは全部精神状態に反映され、ときに悲しい結果を招いてしまう。

10年前、こうした状態にあったのは40代だったが、いまや自分の人生を分析し始める年齢の30代も同じようになってきた。それでも今は社会はものすごい勢いで発展しているので、燃え尽き症候群にかかる年齢も若年化し、25歳でもありえる。

これはまず、その人が独自の価値観をもたず、欲する、欲せずにかかわらず周囲の人間の価値観にあわせて生きている場合だ。たとえば企業で働かねばならず、出世階段を上らねばならないとか、管理職を目指さねばならないとかいうものだ。そうでなければその人は大半の人の目にはイニシアチブに欠けた役立たずに見えてしまうからだ。だが、最初から職場で抜き出ようという目的を持たないような『卑小』な人も燃え尽きる確率が高い。特に自分が苦手な仕事をやらされているとか、状況に屈してちっぽけな役職に長く座らされている場合にそうなりやすい。この場合、若い人はさっさと仕事を変えればいいが、年齢がいくとそうもいかず、危機的状態になってしまう。こうした人たちは変化の恐怖はとてつもない不快を呼ぶからだ。」

昔から怠け者は非難の対象にされてきた。だが医療関係者も太鼓判を押すように、最も優れた解決法や抜群のひらめきが訪れるのは脳が受動的状態になっているときが多い。

<http://bit.ly/28ULeXo>

### **プーチン大統領 露中の協力はグローバルな安定の重要な要素**

(スプートニク 2016年06月23日 22:45)

◎ Sputnik/ Sergey Guneev <http://bit.ly/1PH9yrZ>

国際舞台における露中の協力は、グローバルな安定の重要な要素だ。ロシアのプーチン大統領が中国訪問を前に行われた新華社通信のインタビューで述べた。プーチン大統領は、新華社通信の蔡名照社長からインタビューを受け、露中協力のほぼ全ての方向性について語った。

大統領は、ロシアと中国の協力における優先的な方向性や、今後発展が予定されている協力の方向性について質問を受け、最も重要な課題はハイテク分野における協力への関心を高めることだと答えた。

プーチン大統領は、「我々は宇宙プログラムでも一緒に活動しており、航空分野ではワイドボディ機、そして重量級ヘリコプターを開発している。共同で環境問題に取り組んでおり、原子力エネルギーを含むエネルギー分野では非常に大規模なプロジェクトを続けている」と語った。

<http://bit.ly/28R0nbX>

学者：北極圏の氷河、紅藻のため溶けている

(スプートニク 2016年06月23日 23:15)

◎ Fotolia/ Arrlxx <http://bit.ly/1PAbK3I>

ドイツの、ポツダム・ヘルムホルツセンターの学者グループが紅藻が北極圏の氷河が溶けるのを

速めていると特定した。科学誌ネイチャー・コミュニケーションズ (Nature Communications) でこの研究について詳しく語られている。

環境学者はアイスランド、グリーンランド、スヴァールバル諸島に位置する 20 以上の氷河からサンプルを採取した。サンプルの分析により、北極圏の様々な地域で同一のタイプの紅藻が生えていると判明した。

北極圏の氷河で紅藻がより頻繁に現れていることはすでに以前より知られている。紅藻により、氷と雪は茶色みを帯びる。

学者によると、白くなくなったことにより氷と雪の光を反射する効果が低下し、太陽光をより積極的に吸収し始め、溶けるスピードの加速につながっている。紅藻がついている氷河は、純粋な氷河よりも 13%早く溶ける。

専門家はまた、北極圏の気温が上がってから、この種の藻はさらに活発に繁殖するようになったと指摘している。以前にも、北極圏の海氷面積は減少したと報じられた。

<http://bit.ly/28SVjXs>

## ウクライナ検事総長 クリミアのポクロンスカヤ氏を尋問に呼び出す

(スプートニク 2016 年 06 月 24 日 06:41)

© Sputnik/ Aleksey Nikolskyi <http://bit.ly/28QDL8g>

ウクライナの検事総長は、「クリミアのセルゲイ・アクシヨーフ首相とナタリヤ・ポクロンスカヤ検事」をキエフでの尋問に呼び出した。しかるべき呼出状が、政府機関紙「ウリャドヴィイ・クリエール」に掲載された。

呼出状では、クリミアの首相ならびに検事は 6 月 29 日に検事総長の尋問に出頭する必要があると述べられている。

先にウクライナのユーリー・ルツェンコ検事総長は、領土保全の侵害や外患罪というウクライナ刑法の条項に規定された犯罪を犯した疑いで、クリミアの裁判官、検事、議員、当局代表者 727 人をキエフでの尋問に呼び出したと発表した。

ウクライナは今もクリミアはウクライナの領土であるが、一時的に占領されていると考えている。

<http://bit.ly/292h9mH>

## 福島産米 ロンドンで販売へ

(スプートニク 2016年06月24日 08:31)

© Fotolia/ mamamiapl <http://bit.ly/28TKClK>

福島県産米が英国へ輸出される。The Japan Times が報じた。輸出されるのは福島県が独自に開発した「天のつぶ」という品種。福島県産米が欧州圏に輸出されるのは今回が初めて。英国に在住する福島県に所縁のある人たちによる福島産品のPR活動の成果だという。

日本の農畜産物への風評は臨床試験によって払拭された。出荷元のJA全農福島は、EUの他の加盟国への輸出も拡大する計画。ロンドンに続いてブリュッセルも福島県産米の検査をする用意を表明した。

<http://bit.ly/28UzbLI>

## 英国国民投票 EU離脱を支持

(スプートニク 2016年06月24日 14:52)

© REUTERS/ Andrew Kelly <http://bit.ly/28R1wgH>

国民投票は、法律的に義務的な性格を持ったものではない、つまり英国政府と首相は、その結果を無視することもできるが、専門家も指摘するように、キャメロン首相自身が国民投票実施のイニシアチブをとったという事実から見て、投票結果を彼は恐らく無視できないだろう。キャメロン首相は、どのような結果となっても、自分は首相ポストにとどまると言明していたが、多くの政治学者らは、彼は退陣すると予測している。

<http://bit.ly/28T0161>

## ロシア下院・国際問題委員長「英国のEU離脱は政治的激震」

(スプートニク 2016年06月24日 18:38)

© Sputnik/ Alexei Filippov <http://bit.ly/28Vw7gs>

「英国のEU離脱の是非を問う国民投票の結果は、欧州にとってセンセーショナルなものであり、政治的激震である」—ロシア議会下院・国家会議国際問題委員会のアレクセイ・プシコフ委員長は、テレビ「ロシア24」に出演した中で、このように特徴づけた。

木曜日、英国ではEUからの離脱の是非を問う国民投票が実施され、最終結果では、賛成51.9%で離脱(Brexit)支持派が勝利した。またプシコフ委員長は「もちろん賛否の差3.5%、ほぼ4%と



いう数字は、言うまでもなく、センセーショナルなものだ。これは、欧州にとって政治的激震であり、今後その影響は長く続くだろう」と指摘した。

24日、英国のEUからの離脱支持派が、国民投票で勝利した。有権者1,670万票の障壁を突破した。賛成、反対の票差は、きわめて小さかった。公式データでは、EUからの離脱に賛成したのは、51.9%だった。

twitter.com/ <http://bit.ly/28RASqJ>

<http://bit.ly/28PWhzC>

### **トランプ氏、英 EU 離脱について「英は自国の制御を取り戻した」**

(スプーニクト 2016年06月24日 19:17)

© AFP 2016/ GLYN KIRK <http://bit.ly/28V7Rga>

イギリスはEU離脱に票を投じ「自国のコントロールを取り戻した」と、アメリカ大統領選挙の共和党候補ドナルド・トランプ氏は述べた。ロイターが伝えた。

トランプ氏は国民投票の結果を「目覚しい」と呼んだと、フランス通信社（AFP通信）が報じた。現在スコットランドを訪れているトランプ氏は記者団にこう述べた。「これは素晴らしいことになると思う。これは目覚しいものだと考える」。木曜日23日、イギリスでEU離脱を問う国民投票が行われた。公式情報によると、EU離脱（Brexit）に51.9%の票が投じられた。

24日、英国のEUからの離脱支持派が、国民投票で勝利した。有権者1,670万票の障壁を突破した。賛成、反対の票差は、きわめて小さかった。公式データでは、EUからの離脱に賛成したのは、51.9%だった。

twitter.com/ <http://bit.ly/28RASqJ>

<http://bit.ly/28SDNyE>

### **英外相：EU離脱後プーチン氏への圧力軽減**

(スプートニク 2016年06月24日 19:51)

© AP Photo/ Matt Dunham <http://bit.ly/28VxImm>

英国のフィリップ・ハモンド外相は自国のEU離脱決定により、ロシアへ対抗するという欧州の決意が鈍らないか危惧感を表した。ハモンド外相はロシアのウラジーミル・プーチン大統領について

話しつつ、こう述べた。(デイリー・テレグラフから引用)

ハモンド外相はプーチン大統領についてコメントしたなかで「今朝すでに彼はロシアへの圧力をより少なく感じ、より気力が満ちているのではないだろうか」との見解を表している。この声明はテレグラフ紙に掲載された。

元駐ロシア・アメリカ大使マイケル・マクフォール氏も今日、プーチン大統領をイギリスのEU離脱を問う国民投票の「勝者」と呼んだばかり。

<http://bit.ly/28RHuTH>

### **ボリス・ジョンソン氏、英首相候補本命に**

(スプートニク 2016年06月24日 20:03)

© REUTERS/ Peter Nicholls 1/2 <http://bit.ly/2963JWU>

ブックメーカー(賭け屋)の評価によると、イギリスの新しい首相本命候補はイギリスのEU離脱を率いていた元ロンドン市長ボリス・ジョンソン氏だ。英ブックメーカー「ラドブロックス(Ladbrokes)」を引用し、ロイターが伝えた。

今日、国民投票でのEU残留派の敗北の後には退陣すると、イギリスのデビッド・キャメロン首相が宣言した。キャメロン首相によると、新たな首相は10月はじめまでに選ばれるはずだ。イギリスはEU離脱に票を投じ、このような道を進む史上初の国となる。

[twitter.com/](https://twitter.com/) <http://bit.ly/28RASqJ>

<http://bit.ly/28YSMJf>

### **ガスプロム、中国に貯蔵庫と発電所建設か**

(スプートニク 2016年06月24日 20:12)

© Sputnik/ Iliya Pitalev <http://bit.ly/28X7kL5>

6月25日、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領の中国訪問の際に、ロシアの半国営石油・天然ガス企業ガスプロムと、中国石油天然気集団公司(CNPC)が、天然ガスの地価貯蔵庫と発電所建設協力に関する覚書に署名する可能性がある。ロシアのマスメディアが伝えた。

ガスプロムとCNPCは天然ガスの地価貯蔵庫と天然ガス採掘分野での協力を、以前より審議していた。ガスプロムには天然ガスの地価貯蔵庫建設の大きな経験が蓄えられているが、中国はこの

インフラ分野を発展に着手したばかりだ。

CNPCが提案したガスの地価貯蔵庫のための土地にはいくつかのバリエーションがあったが、ロシアのマスメディアによると、ガスプロムが選んだのは、中国東部にある江蘇省だ。

<http://bit.ly/28Sf0NG>

## **EU離脱が原油を直撃：原油価格急落**

(スプートニク 2016年06月24日 20:19)

© Sputnik/ Alexey Filippov <http://bit.ly/28ST7MD>

金曜日 24 日、英国民投票の結果を背景に、原油価格が急落した。半日でブレント (Brent) 原油の価格は1バレル=49ドル以下に下がった。朝の取引で最大の下げを記録した。中間結果の発表後、ブレント原油の価格は6.5%下落の1バレル=約47.5ドル。ウェスト・テキサス・インターメディアエイト (WTI) は6.4%下げの1バレル=46.9ドル。今後の動きは入ってくるニュースによるだろうが、おそらくは、損失を取り戻せるのは来週だろう。投資家は今、資産市場での金融の嵐の可能性におびえている。だから投資家は金と米国政府債を買い占めているのだ。

<http://bit.ly/2967fRg>

## **露、北の二度のミサイル発射に遺憾**

(スプートニク 2016年06月24日 21:00)

© Sputnik/ Vladimir Astapkovich <http://bit.ly/1J9M4NL>

国連安保理決議に反して北朝鮮でまたもやロケット実験が行われており、それは地域の安定を促さないと、ロシアのマリヤ・ザハロワ外務省報道官が声明し、こう述べた。

「国連安保理決議の要求に反し、そしてもちろん朝鮮半島の軍事・政治的緊張を解消させず、北東アジアの平和と安定を樹立させない北朝鮮の行動に、我われは改めて遺憾の意を示す。」

また、朝鮮半島の状況をさらに悪化させるような行動の自制を全ての関係国に呼びかけ、ザハロワ氏はこう強調した。「我われは北朝鮮の責任ある行動と、国連加盟国としての義務の遵守を期待している。」

<http://bit.ly/28SL2cD>

## プーチン大統領「英国のEU離脱は欧州にとってもロシアにとっても跡を残す」

(スプートニク 2016年06月25日 00:03)

© Sputnik/ Grigoriy Sisoiev <http://bit.ly/1TKALvr>

金曜日、プーチン大統領は、上海協力機構サミット後、会議を総括した中で「英国のEU離脱は、欧州にとってもロシアにとっても跡を残すだろう」と述べた。大統領は、次のように述べた—

「英国にとっても、欧州全体にとっても、そして我々にとっても、このこと（英国のEU離脱）は、最終的に跡を残すだろう。英国での国民投票の結果を分析し、ロシア経済に対するBrexitの否定的影響を最小限にとどめるよう努力する必要がある。英国での国民投票の結果は、安全保障の現状への不満や、他の経済を援助するのを、英国国民が望んでいないこと反映している。」

<http://bit.ly/28TaSsy>

## プーチン大統領「Brexit後、誰もロシアの立場について述べる権利はない」

(スプートニク 2016年06月25日 01:26)

© Sputnik/ Alexei Druzhinin <http://bit.ly/28SFquT>

金曜日、プーチン大統領は、上海協力機構サミット後の記者会見で「英国のEU離脱にロシアが関心を抱いているとのキャメロン首相の発言は、いかなる根拠もないしなかった。それは、自国の世論に影響を与えようとの試みである」と述べた。プーチン大統領は、次のように述べた—

「英国のキャメロン首相が、今回の国民投票まで、ロシアの立場について述べてきたことの中には、いかなる根拠もないし、なかった。私には、自分の国内の世論に影響を与えようとの誤った試みか何かのように思えてならない。私達の見限り、それは、必要な結果をもたらさなかったようだ。まして国民投票後に、ロシアの立場云々について述べるなど、私の見るところ、誰にもそんな権利はない。それは、政治文化の低レベルの表れに他ならない。」

24日、英国のEUからの離脱支持派が、国民投票で勝利した。有権者1,670万票の障壁を突破した。賛成、反対の票差は、きわめて小さかった。公式データでは、EUからの離脱に賛成したのは、51.9%だった。国民投票は、法律的に義務的な性格を持ったものではない、つまり英国政府と首相は、その結果を無視することもできるが、専門家らも指摘するように、キャメロン首相自身が国民投票実施のイニシアチブをとったという事実から見て、投票結果を彼は恐らく無視できないだろう。キャメロン首相は、どのような結果となっても、自分は首相ポストにとどまると言明していたが、多くの政治学者らは、彼は退陣すると予測している。

<http://bit.ly/28SF1Hi>

## スペイン 英領ジブラルタル共同統治を

(スポーツニク 2016年06月24日 22:41)

© REUTERS/ Jon Nazca <http://bit.ly/28XaM8p>

英国のEU離脱の国民投票結果を受け、スペインのホセ・マヌエル・ガルシア・マルガリョ外相は、ジブラルタル自治政府に対し英国との共同主権を約束した。

外相は「スペインと英国は、一定期間、ジブラルタルを共同管理するという戦略を提案し、その後、この領土に対する『スペインの主権回復プロセス』が始まる」と述べた。

外相は「ジブラルタルは、英国化のEU離脱交渉に含まれていないことを要求するべきである」としている。

スペインは、15世紀から17世紀の間、ジブラルタルを領有していたが、18世紀の初め、この場所は、英領に移った。しかしスペインは、ジブラルタルに対する英国の主権に異を唱えている。

なおEUからの離脱の是非を問う英国の国民投票では、ジブラルタルの住民は、離脱反対の立場を明らかにした。

<http://bit.ly/296a0Hb>

## ブーチン氏と独副首相の会談、英EU離脱で実現せず

(スポーツニク 2016年06月25日 00:15)

© AFP 2016/ Odd Andersen <http://bit.ly/1R2FsD7>

来週に予定されていたブーチン大統領とドイツのジグマール・ガブリエル副首相兼経済相の会談は実施されない。ロシア大統領府が確認した。ガブリエル副首相の訪露取り止めの理由は英国のEU離脱。ドミトリー・ペスコフ大統領報道官は記者団からの質問に「確かにその通りだ」と答えている。

独経済相の報道官は「英国の最近の出来事と月曜日の施策のため、来週はじめにはガブリエル首相はロシアに訪れない」と伝えた。歴史的な国民投票は前日行われた、EU離脱には賛成：52%、反対48%だった。

<http://bit.ly/28TSPnK>

## 英国EU離脱で日本人専門家「安全資産の金、評価高まる」

(スポーツニク 2016年06月25日 00:57)

© REUTERS/ Cathal McNaughton <http://bit.ly/28XbRNz>

英国EU離脱、という国民投票の結果は、日本市場にも激震をもたらした。日経平均の終値は約16年ぶりの下げ幅となり15,000円を割り、安定資産として円が買われ、一時は1ドル99円代をつけるほどの円高に突入した。インフレ・株高・円安を基軸にしていたアベノミクスの見込みは外れ、日本の資産運用の環境は変化していくことになる。その中で、価格が上昇しているのが金だ。第一商品株式会社のアナリスト、村上孝一氏は、金が上昇する理由を2点挙げている。

**村上氏**：「6月24日、NY金は1,360ドル台まで上がりました。その後、1,310ドル台まで下がっていますが、これはかなり急伸したために、おそらく手仕舞いが入っているだけだと思います。今回の英国EU離脱でリスクが発生していることを考えると、金にとってはプラスになると思います。ETF（上場投資信託）などの投資需要の盛り上がりも期待されます。NY金は、2013年9月に1,400ドルをつけています。私は、今後、その1,400ドルというラインに向けて上がっていくと見ています。」

**スポーツニク**：それは安全資産としての金の評価がますます高まるということでしょうか。

**村上氏**：「そうですね。もうひとつの理由ですが、今回の国民投票結果を米国の金融当局が気にしています。6月にFRB（米連邦準備制度理事会）が利上げを見送ったのは、英国の国民投票の結果を見たい、ということで見送ったのです。それが、このような結果になりましたから、当然米国も更に利上げがしにくくなりました。今のところ9月に利上げする可能性が一部ありますが、今後もし経済統計が悪くなれば、更はずれて、下手をすれば12月になる可能性もあります。米国の利上げ観測の『後ずれ』というのも、今後金価格が上昇していく要素になると思います。」

英国は、今後2年間、EUからの離脱交渉を行っていくことになると見られる。それに従い円高株安も長期化すると予想される。金融市場の不安定・不透明感は続き、離脱の具体的な影響が今後鮮明になっていくことだろう。

<http://bit.ly/28Rjh0z>

## 露首相、スポーツニクを傘下にもつ通信社「ロシア・セヴォードニャ」創立75周年の祝辞

(スポーツニク 2016年06月25日 01:49)

© Sputnik/ Anton Denisov <http://bit.ly/28VsmbF>

ロシアのドミトリー・メドヴェージェフ首相は、スポーツニク日本もその傘下に入っている国際情報通信社「ロシア・セヴォードニャ（“今日のロシア”の意味）」の職員達に、創立75周年を祝

うメッセージを送り「新たな創造的成功を祈る」と述べた。

メドヴェージェフ首相のメッセージの中では、次のように述べられている—

「あなた方のおかげで、何百万もの人々は、毎日、迅速に情報を受け取り、世界で起きている重要な出来事を知ることができている。」

6月24日、国際情報通信社「ロシア・セヴォードニャ」は、創立75周年の記念日を迎えている。首相は、そのあいさつの中で、1941年6月に基礎が置かれた伝説的なあのソヴィンフォルムビューロー（ソ連情報局）に端を発する通信社の長い歴史について言及した。

<http://bit.ly/28Vsk3D>

## 日本が憂慮すべきは英国EU離脱ではなく、EU崩壊

(スプートニク 2016年06月25日 00:56 リュドミラ・サーキャン)

© AP Photo/ Virginia Mayo <http://bit.ly/28Vs0Xy>

24日金曜、英国からのニュース待ちの状態でのドルレートは2013年11月、アベノミックスがスタートした段階以来、最安値を記録した。そのドルよりもEUの統一通貨ユーロはさらに価格を下げている。日経平均株価は8%以上ダウン。これは2011年3月の東北大震災で10%下落したとき以来、最も著しいダウンとなった。

麻生太郎副首相兼財務相は今日の外貨市場の大きなゆれを「神経質な動き」と呼び、これに関連して政府は状況緩和策をとると語っている。麻生大臣は、日銀は民間金融機関に必要な量の流動性を満たすために今あるメカニズムを使うと語っている。同時に麻生氏は高騰した円を下げるために日銀が為替介入に踏み切るかどうかという問いに対しては答えをかわした。円が強くなれば日本の輸出業者に不利益となるだけでなく、インフレレベルを引上げようとしている政権の努力が無に帰することになる。

ロシア経済高等学校のアナリスト、アンドレイ・フェシュン氏は日本は大きく震撼する必要はないとして、次のように語っている。

「日本はこの影響は世界の他の国ほど強くは受けない。確かに今日は株価は下落し、円の対ドルレートは上がったが、それでもこれは『多少の揺れ』を起こしたあと、止まるだろう。これは危機ではない。日本にとっては米国やアジアの、特に中国で危機が起きるほうが危ない。だがこうした国では今のところ何も起きていない。」

ただ、日本の危惧感や不安は円高だけが原因ではない。英国に生産拠点を置く日本企業の状態も憂慮を煽っている。もし英国がEUを離脱した場合、EU圏の市場向けに作られている日本企業のプロダ

クトは関税の壁に阻まれてしまう。英国を一例にしても自動車には15%の関税がかかることになる。これについてフェッシュン氏はさらに次のように語っている。

「実際、あまりに強くなった円では日本の輸出には、特に自動車産業には不利だ。日本の自動車の専門家のお話では1ドル110円なら利益になる。それが1ドル100円から105円の場合、輸出収益はほぼゼロになってしまう。このため日銀が為替介入を行なうか否かは、多くはトヨタや本家を仏におく日産側からの圧力があるかいなかにかかると思う。

日産は現状ではまだ多少は楽だが、トヨタは大変だ。とはいえ見方を変えればトヨタの主なカウンターパートは米国だ。原則的には日本の自動車メーカーには他に手段がいくつもある。彼らは組み立ても世界中に多極化させているからだ。この意味では日本のことはそう心配しなくてもいい。逆に欧州、英国は憂慮の対象だ。日本にとってはこれは一時的な揺れであって、日銀や経済全体は経験したことがないだけだ。だがこれが英国内の事にとどまらず、EU崩壊の前触れであることは理解しておかねばならない。これはすぐには起きない。10-15年、ひょっとするともっとかかるかもしれないが、それはもう始まってしまったのだ。そして今日本のマーケットで起こっているすべての動きはこの観点から見る必要がある。いずれにせよ、現在のEUという構造はおそらく存在しなくなる。ところが日本の長期的プランや金融決済はすべて欧州内の商品流通が自由に行われることを見込んだものだ。このため日本はEUとの関係をすべて総合的に見直す必要に迫られる。この他に日本が蒙るだろう影響は私はないと思う。」

<http://bit.ly/28Tsl4H>

## 欧LCC最大手、英から飛び去る人用割引券発売

(スプートニク 2016年06月25日 00:52)

◦ Flickr/ GanMed64 <http://bit.ly/28SPiZD>

6月23日、英国民投票で過半数がEU離脱を支持した後、ヨーロッパ最大の格安航空会社ライアンエアーは、英国から「逃げ出す」ことを希望する人向け航空券のセールを発表した。ライアンエアーのサイトには世界の様々な場所への非常に多くの航空券が9.99ポンド(約1,500円)から売られている。キャンペーンは24時間続き、今年10月ないし11月発の便が対象だ。

以前ライアンエアーは積極的に英国のEU残留を支持していた。国民投票の前日ライアンエアーは、イギリスがEU残留に投票した場合のみ、自社史上最大のセールを行うと約束していた。

[twitter.com/](http://twitter.com/) <http://bit.ly/28SjBL5>

<http://bit.ly/28WWAdk>



## 日銀、財務省、英EU離脱受け協議、6月25日

(スプートニク 2016年06月25日 01:35)

© REUTERS/ Yuya Shino <http://bit.ly/20h3a3T>

EU離脱派が勝利した英国国民投票の結果を受け、財務省と日銀の幹部が6月25日協議を行う。共同通信が伝えた。話し合いでは金融市場と為替の状況を安定させるため取られる可能性のある対応について審議される。日本は英国に大きな経済的利益がある。英国には自ら事業を行っている日本の大手会社が1,000以上ある。アジア有数の大きさの東証では今日24日、英国のニュースに激しい反応があった。日本にとってキーとなる指標であり、225の大企業の株価を反映する日経平均株価は、7.92%安で15,000円を下回り取引を終えた。このように、一日間での日経平均の下がり幅は、2000年4月から数えて最大の下落幅となった。

<http://bit.ly/28Rm7Dh>

## 露首相、英EU離脱と露経済への影響について

(スプートニク 2016年06月25日 08:16)

© Sputnik/ Dmitry Astakhov <http://bit.ly/1PB00jm>

ロシアのドミトリー・メドヴェージェフ首相はイギリスのEU離脱を問う国民投票にコメントし、これはイギリスの国内問題だが、国民投票の結果はイギリス人のみならず、世界経済にとって意味を持つと声明し、こう述べた。「もちろん、これはイギリスの国内問題だということを指摘したい。しかし、国民投票の結果がイギリスやEUだけでなく、世界経済全体に意味を持つことは明らかだ。だからこそすでに石油価格は下がった。ポンドそしてユーロ相場は圧迫されており、原材料市場と株式市場のボラティリティが非常に深刻なほど上昇している。私たちは、もちろん、これを歓迎しない。これは世界経済への追加的なリスクだ。つまり、世界経済の一部であり我われロシア経済へのリスクでもある。現在、結果の分析と、ロシア経済の利益のための国内での決定をすることが非常に重要であり、当然、政府によってなされるだろう」。

<http://bit.ly/28XEXez>

## 米軍兵レイプ被害者が語る米軍と日本政権との闘争—独占インタビュー

(スプートニク 2016年06月25日 15:53 リュドミラ・サーキャン)

© AP Photo/ Shizuo Kambayashi <http://bit.ly/29aJkzX>

6月19日、日曜に沖縄県住民が起こした米軍基地への抗議行動は過去20年間で最大規模のものとなった。これだけの規模の行動につながったきっかけは地元女性の殺人事件だった。今年5月20

日、日本の警察は32歳の米海兵ケネット・フランクリンを逮捕。フランクリンには島袋里奈さん(20)の殺人、遺棄の嫌疑が掛けられている。この事件の直後、同じく沖縄で米軍兵の飲酒運転が原因で2名もの人命が失われた。この2つの事件は広範な社会の反応を呼んだ。

抗議市民の多くは手に、米軍基地が日本にある限り、犯罪は続くと書かれたプラカードをもって参加し、米軍基地の沖縄からの撤退の請願書に署名し、米軍兵の犯罪について自分たちへの公式的な謝罪要求を掲げている。

現在、沖縄には2万6千人の米軍兵がいるが、いくつかの資料によれば1972年から現在までに日本で行なわれた米軍兵による犯罪件数はほぼ6千件にも及ぶ。しかもそうした犯罪が常にしかるべき方法で捜査されるわけではない。

スプートニクはこの問題について日本在住の豪州女性キャサリン・フィッシャー氏と話し合った。フィッシャー氏も日本での米軍兵のレイプ被害者でその辛い体験をどう乗り越えたかを『私がキャサリン・ジューンです』(邦題『涙のあとは乾く』)に著している。キャサリンさんはスプートニクからのインタビューに対し、事件を乗り越えるのに米軍と日本の司法を相手に12年間に渡る長い闘争を語ってくれた。

「レイプ被害を受けた場合、まず警察に行きます。私もそうしました。でもそれが間違いでした。日本の警察は私をあたかも犯罪者のように扱いました。私を拘束し、病院に行きたいという訴えも聞き入れてくれなかったのです。私が病院に連れて行かれたのはようやく翌朝になってからでした。2002年当時、日本の警察はレイプ後に行なわねばならないテスト(精液採取など)に必要なものは何も備えていませんでした。日本におけるレイプ捜査の最大の問題は警察に知識も準備も必要な設備もなかったことでした。

しかも私の場合、レイプ犯人は米軍兵士で裁判が行なわれているにもかかわらず、日本を出国する機会が与えられたのです。これは私にとってはあまりにも不当な扱いでした。

私は日本政府に支援を求めました。ところが政府は何も出来ないといったのです。このため私は自力で10年もかけてレイプ犯を探さざるをえませんでした。なんとこの人間は他の犯罪を犯した罪で服役中だったのです。

私は日本の役人らに訴え、犯人を見つけたから今度は私の訴訟を米国の裁判所で続けられるよう求めました。答えはノーでした。なんと日本の米軍基地の地位についての合意では米軍兵は日本の法律を尊重するだけでよく、それに遵守しなくてもよいのです。私は役人らに対し、ということはレイプ被害者を全く擁護できないような米軍人の地位についての合意は改正する 때가来たということだといいました。」

レイプ事件後の14年で、キャサリンさんは沖縄駐留米軍人のレイプ被害者の権利を守る活動家へと化した。

「私は 14 年にわたって闘い続けてきました。この中には日本政府が犯罪犠牲者が訴えることのできる 24 時間のセンターを作り、それに財政的支援を行う要求も含まれています。ですが私の要請は単に無視され続けています。もし日本政府が犯罪が行なわれる度に適切な措置をとってれば、この若い女性はおそらく今、亡くなってはおられないんですよ。こんな事件が起きるたびに日本政権は事件に対する不満を表明するだけ。米国の軍人らは安全を守り、軍人に責任ある行動をさせるよう全力をつくすといいます。でも実際には何もそうしたことは行なわれていない。この問題にはもう一つ、別の側面があります。それは、米国人らは私の場合のように、どんな犯罪を犯しても米国に送り返してくれると疑ってもいないことなのです。」

キャサリンさんも 6 月 19 日の沖縄での抗議行動に参加した。キャサリンさんは心の底から沖縄県民に同情し、自分の闘争を続ける覚悟を決めている。キャサリンさんの闘争の本質はみんなの人権を守るということにある。

「沖縄の人たちは本当に思いやりのある人たちです。あの島には素晴らしい人たちがいます。唯一彼らに残されているのは静かな暮らしが出来るよう要請することだけです。今、私は展覧会を組織しているのですが、そこで日本の紳士靴を展示することになっています。靴には説明書きとしてこう書かれます。『これはある男性の靴です。このかたは 1945 年、レイプされそうになった自分の妻を守って、米軍兵に殺された』と。この展覧会を日本中の国民が、世界中の人たちが目にした時、沖縄の人たちがどんな思いでいるかがわかるのではないかと思います。」

<http://bit.ly/290iLBP>

## **アンドレイ・イヴァノフ編集長没、早すぎる死を悼む日本研究者たち**

(スプートニク 2016 年 06 月 25 日 10:01 リュドミラ・サーキャン)

© Sputnik/ Pavel Lisitsyn <http://bit.ly/295gtyi>

スプートニク日本語課を率いてきたアンドレイ・イヴァノフ編集長（58）が 6 月 19 日に急逝。この死はスプートニクにとっても大きな打撃だが、ロシアにおける日本研究者界も大きなショックを受けている。死者の魂は語り継がれ、生きている人間の記憶から去らない限りは生きている。イヴァノフ氏がロシア正教の 9 日目（仏教で言う初七日に近い）を迎える 6 月 26 日を前に、追悼記事を表したい。

東アジア、日本問題でスプートニクのページにしばしば名前の挙がるモスクワ国際関係大学のドミトリー・ストレリツォフ教授。イヴァノフ編集長は絶大な信頼を置いていたストレリツォフ氏によくインタビューを依頼していた。露日の研究者間でも有名なストレリツォフ氏はイヴァノフ編集長について、次のように語っている。

「アンドレイは素晴らしい専門家だった。国際政治、東アジア地域という領域を見事に網羅する本

当の意味でのプロだった。複雑に絡み合った状況、時に接近も難しいというとき、アンドレイはいつも一番重要なことをつかみ、いわゆる先導の星を見いだすことが出来た。

アンドレイは東アジアの地域情勢のことで、露日関係について、領土問題についてまた日本の国内問題、経済問題についてインタビューを採ろうとよく電話をくれた。彼はそれらの問題に精通していることははっきりと分かったから、彼と話すのは本当に面白かった。私自身も彼の非常に充実した深い考察を読もうと『ロシアの声』『スプートニク』のサイトをよく覗いたものだった。私のようなこの分野での専門家にとってはアンドレイも彼のコメントも実に多くを教えてくれるものであり、それからたくさんの新たな事を学んだものだった。

そんなこと以外にもアンドレイは人間として素晴らしかった。優しく、親切で、控えめな人だった。アンドレイが亡くなったと聞いたとき、周りの世界ががらんどろになり、その大事な部分が失われたように思えた。アンドレイ、どうか安らかに眠りください。」

日本研究家でジャーナリストで執筆活動も行なうアレクサンドル・クラノフ氏（日本研究家協会、ロシア史研究会会員）はアンドレイ・イヴァノフ編集長とは17年来の友人だった。つい先日クラノフ氏の出版した『ロマン・キム』の本をスプートニクが取材するよう取り上げたのはアンドレイさんの提案だった。

クラノフ氏はアンドレイ・イヴァノフ氏との大切な思い出を語り、そのあまりにも早すぎる死を深く悼んでいる。

「アンドレイ・イヴァノフ氏が自分より13歳も年上だったなんて、彼が死ぬまで知らなかった。彼はいつだって僕には年上の友達だった。とはいえ年上なのは事実そうで、なんでもよく知っていたし、出来る。分かる。教え上手。それなのにいつも変わらず友達でいてくれた。近くて、分かり合えて、すぐに飛んでいける。

僕たちが知り合ったのは1999年の春、日本への記者旅行のときだった。僕はついちょっと前に雑誌「今日の日本」に就職したばかりで、アンドレイはそのちょっと前にそこを退社したばかり。『創造的なキャリアアップ』を図るためと彼の退社理由を僕たちは冗談めかして語っていた。

彼の元職場と僕の今の職場が一緒だとわかったとたん、僕らは『俺、お前』で呼び合うようになった。話が進むうちに、なんと僕に充てられた担当は雑誌社の中でもアンドレイのやっていた『日本の習慣、武道、日本流マネージメント』で、つまり彼の直接の継承者だってことがわかった。しかも彼はそれらについて全部、またはほとんど全部、それはそれは詳しく知っていた。当時僕は何も、またはほとんど何も知らなかったのだが、大事な事はできた。それは学ぶために目を見開き、耳をそばだてるということだった。

日本での2週間は彼の庇護のもとに過ぎた。僕が初めて覚えた長い日本語のフレーズはルポルタージュ的なもので、これも東京のど真ん中の日枝神社で彼が教え込んだものだった。『お写真を撮らせていただいてもいいでしょうか?』

アンドレイ・イヴァノフ氏、2002年撮影

◦ 写真：イヴァノフ氏遺族

<http://bit.ly/28YYgmX>

アンドレイが『コメルサント』紙に就職したとき、僕は彼と知り合いなんだ、こんなに経験を積んだジャーナリストと昔一緒に日本に行ったことがあるんだと誇らしかった。アンドレイには時々、特に複雑な問題について電話で相談していた。彼が柔道や合気道をやっているところに通いもした。

ただ時間が経過するにつれ、付き合う機会は薄れていったが、それでも互いに視界から消えることはなかったし、会うたびに昔からの友人に再会したときのように喜び合った。新しいニュースはないか、何か変わったニュースはないかと尋ねあった。だけど彼が死んだというニュースを待つはめになろうとは考えもしなかった。しかもこんなにも早く…。君のことは決して忘れない。」

<http://bit.ly/28UsIvw>

### **プーチン大統領：露はEUの前向きな行動には前向きに応える**

(スプートニク 2016年06月25日 10:22)

◦ Sputnik/ Alexey Nikolsky <http://bit.ly/1ktGcnF>

EUの前向きな行動には前向きに応える。もしロシアと建設的な対話を行うようパートナーが「成熟する」ならば、ロシアは対話の準備ができているし、それどころか、対話を望んでいる。プーチン大統領はこう述べ、24日こう声明した。

プーチン大統領は、次のように述べた -

「私たちがEUへ制裁を始めたのではない。私たちはEUが自らロシアに課した制裁に応えただけだ。もう一つ強調したいことがある。もしもこの問題について私たちロシアと建設的な対話をするよう私たちのパートナーが成熟するならば、私たちは準備ができている。準備ができているだけでなく、私たちは対話を望んでおり、前向きな行動には前向きに応える。」

<http://bit.ly/29aLtvD>

### **日本企業 露マガダン州の石炭採掘に関心**

(スプートニク 2016年06月25日 16:14)

◦ Sputnik/ Alexei Kudenko 1/2 <http://bit.ly/28VI2rl>

日本の複数の企業が、ロシア極東北方のマガダン州コリマの石炭資源探査と採掘に向けた共同プ

プロジェクトへの参加に関心を持っている。管轄する地方政府当局者が伝えた。

マガダン州のウラジーミル・ペチェヌイ知事は、マガダンの石炭の共同採掘の見通しについて日本代表団と話し合った。なおこの日本代表団には、JOGMEC（独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構）、JFE Techno Research（JFEテクノリサーチ株式会社）、に音エネルギー経済研究所（IEEJ）の代表らが含まれていた。

日本代表団のホリグチ・シンヤ団長は、有用資源の探査と採掘に向けた共同プロジェクトへの関心を示し、次のように述べた—

「日本は、鉱物資源の乏しい、人口が密集した国だ。JOGMECの課題は、国外から石炭その他の鉱物資源を供給する事である。日本政府は、ロシア領内の有用地下資源採掘を行う合弁会社の地質学的探査や試験作業に対し融資する用意がある。そのために我々は、マガダン州を含め、協力するのにふさわしいパートナーを探しているところだ。」

<http://bit.ly/28UVu31>

## ワシントンポスト、EU離脱候補さらに6国挙げる

（スプートニク 2016年06月25日 21:21）

◎ Sputnik/ Aleksey Filippov <http://bit.ly/28VEvtZ>

近い将来にさらに6カ国がEU離脱を問う国民投票を行う可能性がある。米ワシントンポストが報じた。ワシントンポストが考えるには、英国の例はスウェーデンに感染するかもしれない。スウェーデンは国の通貨としてユーロは導入されておらず、政治に関する彼らの意見は90%イギリス人の意見と一致する。また、いわゆる「リスクゾーン」とされている国、デンマーク、ギリシャ、オランダ、ハンガリー、フランスにも離脱の可能性はある。

<http://bit.ly/28VYNog>

## 論争を呼ぶ領域、泣き笑い

（スプートニク 2016年06月25日 16:56 リュドミラ・サーキャン）

◎ AFP 2016/ JAY DIRECTO <http://bit.ly/28VEFBA>

中国が南シナ海で法に反する行動をとっているとしてハーグの国際司法裁判所にフィリピンが持ち込んだ訴えの判決が、数日のうちに下る。国際的な世論の注目はこの問題に釘付けになっている。なぜなら国際司法裁判所にこうした種類の問題が持ち込まれたのは前代未聞のことだからだ。

訴えが起こされたのは2013年。中国が事実上、スカボロー礁（中国名：黄岩島）に対する実行支配を開始した1年後。この島はフィリピンから140海里の地点に、つまりフィリピンの主張では排他的経済水域の200海里内に位置している。発端はスカボロー礁付近に8隻の中国の五千が出現したことだった。この漁船の船員らはフィリピン海軍の船によって拘束され、密漁を行っていたとして訴えられた。

このシナリオは2010年、尖閣諸島を廻って起きた事件と共通するものがある。事件の発端は中国の漁船が日本の沿岸警備艇と起こした衝突騒ぎだった。中国人船長が接舷戦を逃れようと日本の船に体当たりを食らわし、これが火に油を注いだ。日本側は中国漁船を拿捕し、船長は裁判にかけられ、地域紛争にまで発展する恐れが生じた。だが幸いなことにすべては両国での大声でのアピールに集約され、法的、歴史的根拠を入念の模索する試みがなされ、日本のマスコミでも中国側でも煽動的なレトリックが多々なされるに留まった。

さて今回のフィリピンの訴えだが、注視すべきなのは訴えがスカボロー礁やその他の係争諸島の貴族権には全く関与していない点だろう。訴えは南シナ海といわゆるU字ラインがひかれ、その大半が中国領であることを示す地図が中国で出されたことに集約されている。これは海洋法に関する国際連合条約に即しているかどうかが問題視されている。この訴えの弱点は中国、フィリピン以外にもこの水域の領有権を主張する台湾、ベトナム、マレーシア、ブルネイの考える境界線も全く同様に他国の領土に侵入している点だ。

もしハーグが中国は国際法に違反しているという判決を下せば、国際社会からの批判は間違いなく強まる。ところが中国はいかなる決定も自国の国益を縮めるものであるならば遂行する構えにはない。ひょっとするとフィリピンもまさにこれを計算に入れているのではないだろうか？ 大して意味のない地点でもせめて一箇所でポジティブな決定をものにして、中国が国際法規に違反しているところを示す、というのが目論みなのだろうか？

世界には争いの程度の差こそあれ、何百もの領土論争がある。堂々と辺りに聞こえるようなものもあれば、たいした意味を持たないために世論の注目からはずれているものもある。例えば北極にあるケンネディー海峡の中央部にある、わずか1.3キロ平米の無人島ガンズ島。この島をめぐる長年カナダとデンマークはいさかいを続けてきた。

1970年代初め、両国は北極の海上の線引きをどこにするかで合意した。ところが島の地位は確定されないまま残された。双方ともが間断なく自国の調査船を島へ送り、自国の旗を立て、抗議の記しを送りあっている。1984年、紛争は新たなレベルに達した。デンマークは旗ざおの下にアルコールのビンを置き、そこに「デンマーク領によろこそ！」というメモを貼り付けた。しばらくたってデンマークは非対称的な報復をカナダ産ウイスキーという形で食らった。それ以来、すでに30年以上もNATO加盟のこの2国は何もない裸の島をめぐる凄惨な戦いを続け、それぞれ相手に対して贈り物を置き土産にすることも忘れていない。

<http://bit.ly/28YZLkW>

## 独外相、英のEU離脱に対し復讐しないようEU各国に呼びかけ

(スプートニク 2016年06月25日 17:38)

© AP Photo/ Majdi Mohammed <http://bit.ly/1Ig0Jot>

独フランク=ヴァルター・シュタインマイヤー外相は、英国がEU離脱に対して復讐しないようEU各国に呼びかけた。シュタインマイヤー外相によると、今EU各国は安全保障、移民、経済成長といった問題に集中しなければいけないという。英デイリー・テレグラフに外相のこのような声明が掲載された。「我われは取られた決定を尊重し、復讐を自制しないとイケない」。シュタインマイヤー外相はまた、英国のEU離脱手続きの審議という困難な仕事が今後控えているとも述べた。

<http://bit.ly/28TK5hh>

## ナルィシキン下院議長「米国は広島悲劇の記憶を払拭したいと望んでいる」

(スプートニク 2016年06月25日 20:41)

© Sputnik/ Sergei Guneyev <http://bit.ly/28TKmAU>

「米国の政治家達は、広島・長崎に対する原爆投下について日本人に謝罪していない。なぜなら彼らは、謝罪を歴史上の事実にしたくないからだ」—ロシア議会下院・国家会議のセルゲイ・ナルィシキン議長は、そうした見方を明らかにした。木曜日、ナルィシキン下院議長は、記者会見で次のように述べた—

「なぜ米国の政治家達は、犯罪を行ったことに対し、日本の方々に謝罪することを恐れるのか？ 謝罪しない原因はどこにあるのか？ 謝罪というのは、とても人間的で正しい、人道的ジェスチャーだと思うのだが、彼らはそれをしない。私は間違っているかもしれないが、これも、原爆投下についての歴史的記憶を封じ込めようと、積まれるレンガの一つなのかもしれない、そう私は推測している。まさにそれゆえに米国人達は、この野蛮な、時効というもののない戦争犯罪の『作者』が一体誰なのか、誰に罪があるのかに注意の力点を置くのを欲しないのである。謝罪しなければ、徐々に、時を経るに従って、お前は悪くないと仮定できるようになるからだ。」

<http://bit.ly/295jtKY>

## 50万人を超えるEU離脱反対派 新たな国民投票実施を支持

(スプートニク 2016年06月25日 21:20)

© Sputnik/ Sputnik <http://bit.ly/28VJA12>

EUからの英国の離脱に反対する人々は、サイト上に、英国議会に対し国民投票のやり直しを求



める意見を公表した。このイニシアチブの提唱者らは、政府に対し、もし離脱に賛成あるいは反対した人の数が60%以下であったり、投票率が75%以下であった場合、国民投票をもう一度実施すべきだという規則を適用するよう訴えている。現時点までに、こうした訴えを支持する英国人の数は51万5,811人で、必要な数である10万人の署名より、5倍も多いものだ。

<http://bit.ly/28ZeiHY>

## 北京でプーチン・習公式会談行われる

(スプートニク 2016年06月25日 19:07)

◎ Sputnik/ Mikhail Klementyev <http://bit.ly/28W04Mj>

ロシアのウラジーミル・プーチン大統領と中国の習近平国家主席による会談の公式セレモニーが、北京の人民大会堂前の広場で行われた。プーチン大統領は、上海協力機構首脳会議が開かれたウズベキスタンの首都タシケントから北京入りした。この会議の際にも、プーチン大統領は、習国家主席と会談した。セレモニーの後、プーチン大統領と習国家主席は、最高首脳同士の会談のため人民大会堂に入った。これまでにプーチン大統領は、すでに、張徳江全国人民代表大会常務委員会委員長及び李克強首相と交渉を行った。

<http://bit.ly/28W0AK3>

## 「英EU離脱、ソ連崩壊のよう」

(スプートニク 2016年06月25日 23:49)

◎ 写真: Pixabay <http://bit.ly/291IcBj>

英国EU離脱を問う国民投票の結果は白熱した議論のテーマとなった。ある者は起きたことに激しく反応し、ある者は自らの予想を立てている。多くのツイッター利用者は英国のEU離脱をソ連崩壊とすら比較している。

[twitter.com/](http://twitter.com/) <http://bit.ly/28ZeJsK>

[twitter.com/](http://twitter.com/) <http://bit.ly/28WxGgp>

一方では、失望と不満が。

[twitter.com/](http://twitter.com/) <http://bit.ly/290pb3Q>

多くのユーザーは、イギリスの高齢層はイギリスの若年層に謝らないといけないとの意見を取っている。統計データによると、18～24歳の人75%はEU離脱に反対票を投じたが、50歳以上の世代で離脱に反対したのは44%だ。

twitter.com/ <http://bit.ly/28Z22wr>

twitter.com/ <http://bit.ly/290p0Fr>

一方では一陽気すらある。

twitter.com/ <http://bit.ly/28UYhcN>

多くの人は皮肉交じりに反応した。

twitter.com/ <http://bit.ly/28VKfma>

「パンドラの箱を開けたくはなかったのに…。箱はもう開いているんだ…。」

<http://bit.ly/28TMWVv>

## プーチン大統領「ロ中首脳の頻繁な会合は両国民の求めによるもの」

(スプートニク 2016年06月25日 20:12)

◦ Sputnik/ Mikhail Klementyev <http://bit.ly/28Z2hr1>

プーチン大統領は、北京での習近平国家主席との会談で、ロ中の最高レベルでの会合が頻繁かつ定期的に開かれるのは、両国関係の強化と発展をロ中両国民が望んでいるためだと述べた。プーチン大統領は、次のように指摘した—

「習国家主席は、私の大切な友人だ。我々は、非常に頻繁に、また定期的に会っているが、このホールに来た今日も指摘されたように、毎回、我々の会談は、内容豊富である。これは、単に、今回の訪問が、友好・善隣協力条約15周年という公式的な出来事であるからばかりではない。これは、生活自体が求めるものであり、関係強化と発展に向けた中国とロシア両国民の要求によるものだからだ。」

<http://bit.ly/28TNoVA>

## スコットランド 英国に代わってEU加盟の可能性

(スプートニク 2016年06月25日 23:49)

◦ Flickr/ Gerard Ferry <http://bit.ly/28Uwd55>

スコットランドは、英国に代わりEU加盟国となるかもしれない。そうした事態は、もしスコットランドで独立の是非を問う住民投票がもう一度行われ、英国（連合王国）からの離脱を住民が選択した場合、十分起こり得るとのことだ。

デジタル経済・社会担当欧州委員のギンター・エッティンガー氏は、次のように述べている—

「もしスコットランドが、実施される可能性のある住民投票の結果、独立を選択するならば、  
そしてもし、スコットランドが、EUへの加盟の基礎となる基本合意に記されている諸条件を  
遂行するならば、スコットランドがEU加盟国になれない理由はない。」

スコットランドでは、今回の国民投票において大部分の住民が、離脱反対に票を投じた。現在当  
地では、英国からの独立の是非を問う住民投票をやり直すべきだとの要求が高まっている。

<http://bit.ly/29aT0dI>

### **習国家主席「中口のパートナーシップは国際政治の健全な発展に貢献」**

(スプートニク 2016年06月25日 21:20)

© Sputnik/ Mikhail Klimentyev <http://bit.ly/28UZb91>

中国の習近平国家主席は、ウラジーミル・プーチン大統領との会談で「中国とロシアの戦略的パ  
ートナーシップと協同行動は、地域及び国際政治の健全な発展に寄与している」と指摘した。

習国家主席は次のように述べた—

「ここ数年、我々は、大変密接なコンタクトを維持している。それによって我々は、中口の戦  
略的パートナーシップと協同行動の高いレベルの関係を維持できている。そうすることで我々  
は、地域及び国際政治の健全な発展に貢献している。」

このように述べた習国家主席は、また、先日タシケントで行われたばかりの上海協力機構首脳会  
議の成果に満足の意を表した。

<http://bit.ly/28VKvls>

### **英国人は Google で「EUとは何か？」を検索している**

(スプートニク 2016年06月25日 22:05)

© East News/ Imago Stock and People <http://bit.ly/28UZ3GJ>

英国のかなり多くのインターネット・ユーザーが、EUからの離脱がどんな脅威をもたらすのか、  
そもそもEUとは何かを知らない。米 Google 社が公表した英国人の検索データがそれを裏付けてい  
る。EU離脱支持が半数以上を占めた国民投票の後、英国人が Google の検索を通じて質問してくる  
ものの第一番目は「EUからの離脱は、どんな脅威をもたらすか？」第二番目が「EUとは何か？」

だった。こうした統計を担当している Google Trend 社が伝えた。なお、検索の第三番目は「EUにはどんな国々が加盟しているのか?」、そして第四番目は、英国にとっての離脱の影響に関する質問だった、とのことだ。

<http://bit.ly/28TNN8v>

## 口中 自国通貨での決済を拡大

(スプートニク 2016年06月25日 23:07)

© Sputnik/ Mikhail Klimentyev <http://bit.ly/291JJJaA>

ロシアと中国は、自国通貨での決済を拡大する。北京訪問中のプーチン大統領が、明らかにした。大統領は、そうした方法をとれば、外の景気に左右されることが少なくなると指摘し、次のように述べた—

「外の景気に左右されるのを少なくするために、我々は、相互決済における自国通貨の使用を拡大する。そうした支払いにおいてルーブルが占める割合は3%だが、人民元は、はるかに大きく9%である。おまけに人民元の割合は、ロシアに人民元取引のための決済清算センターができた後には、目に見えて増えるに違いない。」

<http://bit.ly/28VksxA>

## 仏、英に早急なEU離脱と、ふざけないよう要求

(スプートニク 2016年06月26日 02:21)

© AFP 2016/ Stephane de Sakutin <http://bit.ly/28VLeDl>

英国はEU新基本条約であるリスボン条約の、EU離脱に関する第50条に基づき急ぎ作業を始める必要があると、仏外相ジャン＝マルク・エロー氏は述べた。ロイターが伝えた。EU諸国の6外相会談の後エロー外相は、英国がふざけるのならば、それは許されるものではないと述べ、こう語った。

「もちろん、新しい総理大臣は任命されるべきであるし、それは数日の遅れに繋がるだろう。しかし、これは火急の問題だ。経済・政治的な結果を招くかもしれない不確定な期間を延ばさないことに、英国の利益とヨーロッパの利益はある。」

<http://bit.ly/28TNQB8>

## 米政府、核不拡散の新たな方策発表する

(スプートニク 2016年06月26日 07:37)

© AP Photo/ Juan Carlos Llorca <http://bit.ly/1lileuv>

米政府は、オバマ大統領の在任期間が終わる2017年1月までの、大量破壊兵器の不拡散のための新たな方策を宣言する。スプートニクにトーマス・カントリーマン米国務次官補が伝えた。直近6ヵ月での大量破壊兵器の不拡散プログラムに関する、新たな発表を米政府はする予定はあるかとの質問に、カントリーマン米国務次官補は「ある」と答え、こう述べた。

「何がしかの本質的な声明がなされるか？ 今日予測をすることは避けるが、プロセスは進んでいる。」

米大統領選挙は11月8日に行われる。バラク・オバマ現職大統領は2017年1月、後継者に全権を移譲する。

<http://bit.ly/28Wz07V>

## マリアナ海溝、地球で最も汚い場所の1つに

(スプートニク 2016年06月26日 08:26)

◎ 写真: NOAA Office of Ocean Exploration <http://bit.ly/28V0GnL>

世界の海で最も深い場所であるマリアナ海溝の有害物質のレベルは、下水や廃棄物が捨てられる海の沿岸よりも目に見えるほど高い。科学誌ネイチャーのニュース部が伝えた。この発見はスコットランドのアバディーン大学のアラン・ジェイミソンと同僚によってなされた。アメリカ海洋大気庁(NOAA)が去年行った調査で、マリアナ海溝の底で採取された細菌や甲殻類を調べ、彼らはこのような驚くべき結論に至った。

深海生物の化学物質含有量を調べ、彼らは恐怖に陥った。深海生物の体内にはガンや不妊を引き起こす危険な有害物質の有意な濃度を発見したのだ。ジェイミソン教授はこう述べる。

「この発見の教訓はこのようなものだ—もし海に廃棄物を投棄すれば、それは消え去らずに、海底で見つかる。なぜなら海底に蓄積されるからだ。外部の世界から完全に隔離されていると以前は考えられていた環境から有害物質が見つかったことは、最深部にいる動物でさえ、人間の活動の前には脆弱であるということだ。」

<http://bit.ly/28V0zbC>

## ロシア エジプトにテロ対策用にミサイル艇を贈る

(スプートニク 2016年06月26日 13:02)

© Sputnik/ Ildus Gilyazutdinov <http://bit.ly/1Rb7EDU>

ロシアは、エジプトに艦対艦ミサイル「モスキート（“蚊”の意味）」を搭載したミサイル艇を贈った。

「ロシア軍政治指導部により、エジプト海軍に、攻撃兵器を搭載したミサイル艇 P-32 が贈与された。この艦船には、艦対艦巡航ミサイル・システム『モスキート』が装備されている。このようにしてロシアは、エジプトが陸上でもまた海上でもテロリズムと戦うための援助を行っている。」

<http://bit.ly/28TQUiK>

## 急逝イヴァノフ編集長、中国専門家で親友のルーキン氏が追悼

(スプートニク 2016年06月26日 16:58)

◎ 写真: Aleksandr Lukin <http://bit.ly/28XxUjW>

スプートニク日本語課のアンドレイ・イヴァノフ編集長の急逝は多くの東洋学専門家を震撼させた。イヴァノフ氏は豊かな知識をもとに平易な言葉で明確な地域情勢分析が行なえるジャーナリストだった。イヴァノフ氏が多くのインタビューをとった中国の専門家のアレクサンドル・ルーキン氏も故人の稀有な才能を知る一人。

ルーキン氏は親友イヴァノフ氏の死を深く悼み、近い人間でなければ書けない追悼文を送ってくださった。

「アンドレイ・イヴァノフと知り合ったのは2006年。それがどの場だったかは今となっては正確に思い出せないのだが、おそらく頻繁に行なわれるどこかの大使館のレセプションの席だったと思う。ただし彼の名前を聞いた瞬間、これはどこかで知っているぞと思いあつた。私は『ノーヴォエ・ヴレーミャ（新時代）』誌で彼の台湾についての記事を読んでおり、それをそれまで数年かけて書きあげた『中国におけるロシア像』という本のなかでかなり引用していたからだった。

私はこの人物はきっと老練で精通したすごく偉いジャーナリストで、おそらく東洋学専攻だったんだろうと思っていた。なぜならあまりにも知識豊富に専門的にかくも遠く離れた島の情勢を書き表していたからだ。彼は事に精通してはいたが、話してみると気さくでとつきやすく、とても快活だった。私たちはすぐに親しくなり、お互いを、そしてこの世のあらゆることからかい、笑い合いあつた。それから私は彼を自分が編集長を務めていた雑誌『ロシアー中国：21世紀』の副編集長に呼んだ。これはロシアで初めて出された中国についての専門誌で民間のストラクチャーが融資

していた。私はジャーナリストではない。このため編集長としては雑誌の路線を決め、何について書くべきかは言えたが、ジャーナリストとしては書き、しかるべき形にテキストを編集することは出来なかった。この仕事にはプロが要る。そしてアンドレイはちょうどそのプロだったのだ。彼は中国に関するどんなテーマのどんな記事もわずか半時間で書けた。しかもそれは十分におもしろく、内容豊かで大いに読まれた。それだけではない。彼はほんの少し手を加えるだけで、学者たちのうんざりするほど退屈なテキストを明確で分かりやすい記事に仕立て上げるという才能を持っていた。

この時代、アンドレイは「コメルサント」紙に勤務し、東アジアについての記事を書いていた。なんと彼は大学の専攻は東洋学とは全く関係なく、しかもジャーナリストでもなく、プログラマーだったと知ったときの驚きといたら。アンドレイはモスクワ歴史公文書大学科学・技術情報学部を出ていた。ジャーナリストに、そしてアジアの専門家になったのは年がたってからのことだったのだ。大学卒業後、アジアに興味を持ったアンドレイは自力で日本語、朝鮮語、中国語の基礎を学び、この地域に共通する問題ではおそらく最高のプロの論説員になった。興味深いことだが彼のような例は他にないわけではない。ジャーナリズムを専攻して面白い記事がかけるといふジャーナリストはめったにいない。よいジャーナリストには物理学者から歴史家までどんな人間でもなりうる。ところがジャーナリズム科を出た人間だけはだめだ。どうやらこれはジャーナリズム科ではどんな問題に対してだろうが基礎知識がきっちり与えられず、深く考察することも教えられないことに起因するようだ。

おそらくまさにこのプロフェッショナルというのと「知ったかぶり」が故にアンドレイはしょっちゅう職場で問題につきあっていた。アンドレイは事実の誤り、専門的なミスには我慢がならず、いつもそれらを指摘しては自分の見解をはっきり示すので、これが指導部には気に入られず、大体にして必要とされるのが地域の専門家ではなく、広く浅く「適当にこなす」者であるという今どきの国際ジャーナリズムの方向性に真っ向から矛盾していた。

今、アンドレイの元職場の「コメルサント」紙で彼のいたポジションで働く人間らがしょっちゅう名前や役職を混同し、日付を間違え、組織名を誤るのは偶然でもなんでもない。なのに幹部も読み手もそれどころではない。深さや正確さはいまどき切実には求められてはいない。そういう時代なのだ。

しばらくたってアンドレイは「コメルサント」紙を出ざるをえなくなり、今度は雑誌『惑星のこだま』国際部で部長となった。多くはアンドレイのおかげでこの雑誌は新たな読者を得て、ソ連末期の雑誌の創刊時にほぼ並ぶほど人気を博した。だがこの雑誌もしばらくするとたぶん財政上のことだったと思うが、問題が生じ、人員カットが始まり、その後完全に廃刊になってしまった。こうしてアンドレイは2009年の段階から協力していたムギモ（モスクワ国際関係大学）の東アジアおよび上海協力機構調査センターに完全に移った。それはセンターに日本専門家がいなかったからだった。

アンドレイは把握の深さと広さ、迅速な課題遂行というジャーナリストと研究者の両方の最高の資質をあわせ持ち、すぐさま積極的に作業に加わった。従来が論文や分析資料を書くのに数ヶ月を要するところを、アンドレイは2日で全てを終わらせた。しかもそれを極めて質の高い

かたちで行うことができた。指導部からアジア関係の緊急な課題が入ると、みんながアンドレイのところにもってくるようになった。それをアンドレイは断ることなく頼まれたことは全部やっていた。私はいつもアンドレイに研究をやるよう背中を押したものだが、彼はいったん真剣に取り組み出すとすぐに成功を収めるようになった。アンドレイは外務省などの諸機関向けにたくさんの分析資料を書き、学術論文を数本、露日関係についての修士論文を書いた。その彼の指導教官だったのが著名なロシア人日本専門家で元外務次官、駐日ロシア大使を務めたアレクサンドル・パノフ氏だった。その一部を私たちは自分たちの文集に載せた。大きな共同執筆論文「ロシアー中国、400年に及ぶ相関関係」でロシアと台湾、香港、マカオとの関係について稀有な1章を書いた。だが自分の本の出版までには彼は至らなかった。「ロシアの声」日本語課のインターネットサイト編集長になると、アンドレイはこの仕事に多くの時間を費やすようになった。この仕事を彼は愛し、どうやらここで自分を見つけたようだった。アンドレイはロシア情勢、世界情勢へのロシア人専門家らの見解の多様性をなんとか日本の読者に分かってもらおうと邁進し、政治的事件、ロシア内外で取り上げられている問題について論説を書いた。つい先日、北朝鮮での党大会の取材旅行から帰ったばかりで、会って印象を語るという約束だった。だが、この約束は果たされなかった。

アンドレイの死去はあまりにも突然で恐ろしい一撃だった。私たちの年齢では知人の死はもう異例なことのように受け止められない。だがアンドレイは特別な親友だった。それにプロの人間として彼に代わる人物など見つけようもないからではない。アンドレイと私はお互いに分かり合い、いつも冗談を言い合い、人生を笑い飛ばして生きていたからだ。ところがその人生が私たちにこんな打撃を食らわせたのだった。

私は自分の50歳の誕生日にアンドレイの別の才能も知ることになった。彼はかなり筆の立つ、というかプロフェッショナルにと言ってもいいほどの絵が描けた。アンドレイが贈ってくれたのは私の肖像画で油絵のあらゆる手法に正しくのっとなって描かれており、隣には毛沢東がいて、彼の名言である「お前が仕事をしているうちは、私は安泰だ」が書き込まれていた。言い伝えでは毛沢東は亡くなるしばらく前に自分の後継者にこの言葉を伝えたとされている。アンドレイは死ぬ前に自分からこの言葉を私に言ってくれたのではないかと思いたい。少なくとも彼の期待を裏切らぬよう、私は全力を尽くすつもりだ。」

<http://bit.ly/28WI3jg>

## 英国 再投票を求める請願に 230 万人以上が署名

(スプートニク 2016年06月26日 16:52)

© Sputnik/ Sputnik <http://bit.ly/28Y8XbR>

英国のEU離脱を決めた国民投票の結果の見直しを求める請願に200万人以上の署名が集まった。請願は、英国議会のサイト上に掲載され、すでに230万人以上が署名した。なお、議会での審議に必要とされるのは10万人の署名。新聞メトロは、英国下院議員の話として、28日に議会の委員会の会合で審議されると伝えた。ロイター通信によると、土曜夜には1分間に3,000人以上が請願に署



名したという。

<http://bit.ly/2916Kvh>

## ロシア G20 サミットの主催で中国を助ける

(スプートニク 2016年06月26日 17:07)

◦ Sputnik/ Mikhail Klimentyev <http://bit.ly/28UZpIn>

ロシアは、今年のG20サミットの準備と開催で中国に協力する用意がある。25日、ロシアのプーチン大統領が中国の習国家主席との会談後に発表した。国家主席は、中国で開かれるG20サミットにプーチン大統領を招待した。

プーチン大統領は、「ロシア側は中国の友人たちに彼らが現在務めているG20議長ポストと、中国で9月4～5日に開かれるG20サミットに向けた準備で必要な支援を行う。なぜなら我々はすでにG20の議長国を務め、中国のパートナーたちがこの行事に向けて非常に真剣に取り組んでいることを知っているからだ」と語った。G20サミットは、2016年9月4～5日に中国の杭州で開かれる。

<http://bit.ly/2917iBf>

## フォックスニュース 間違えて英国が「国連から離脱」と報じる

(スプートニク 2016年06月26日 17:30)

◦ Flickr/ Dieter Laskowski <http://bit.ly/28ZCMHr>

米TVフォックスニュースは、英国国民がEUではなく国連からの離脱を望んだと間違えて報じた。フォックスニュースが24日に報じたニュースに、ツイッター利用者たちが注目した。

[twitter.com/ http://bit.ly/28UZfkn](http://bit.ly/28UZfkn)

フォックスニュースは、英国で国民投票が実施され、EUからの離脱ではなく、国連からの離脱派が勝利したと伝えた。英国のEU離脱(Brexit)の是非を問う国民投票は23日に実施された。Brexit派が得票率51.9%で勝利した。

EU当局はすでに、英国が離脱のための公式な申請を早急に行うのを待っていると発表した。

<http://bit.ly/28Xz92F>

## ロンドン、英離脱しEU加盟か？

(スプートニク 2016年06月26日 19:35)

© Sputnik/ Alexey Filippov <http://bit.ly/29186pK>

ロンドンを英国から独立していると認め、EUに加盟させる旨の請願書に、15万の署名が集まり、この署名数は市長をリコールするために必要な票数となった。現在、請願書には15万4,136が署名している。サイト「Change.org」に掲載された請願書にはこう書かれている。

「ロンドンには、国際都市だ。我われは欧州の心臓部に残ることを望む。真実を直視しよう：英国の他の地域はそう考えていない。だから受動的に、選挙のたび攻撃的にお互いに反対票を投ずるかわりに、立法的に我われの「離別」を制定して、大陸の友人たちのところに移住しよう。」

請願書はサディク・カーン市長の元に届けられる。

<http://bit.ly/2917XD3>

## プーチン大統領の中国訪問 2つの主な成果

(スプートニク 2016年06月26日 19:31)

© Sputnik/ Sergey Guneyev <http://bit.ly/28XzbFJ>

24・25日、ロシアのプーチン大統領が中国の習国家主席の招きで中国を公式訪問した。モスクワ・カーネギー・センター「アジア太平洋地域におけるロシア」プログラムの責任者アレクサンドル・ガブエフ氏が、「スプートニク」のために訪問結果についてコメントした。

「訪問では、主に経済的なものよりも政治的な重要性の方が大きなものとなった。両国にとって特に2つの文書が重要な意味を持っている。それは情報セキュリティならびに情報分野における協力に関する共同声明と、政治的安定性に関する声明だ。

情報セキュリティに関する声明のお陰で、ロシアと中国には各国からのインターネット上の脅威に共同で対抗する可能性が生まれる。露中のグローバル・インターネット・ガバナンスに関する議論で立場を強めるための現実的な一歩が踏み出された。言い換えれば、米国が進めている取り組みを破綻させるための構造がつけられたということだ。

2つめの政治的安定性に関する声明では、ロシアと中国がミサイル防衛(MD)に関する米国のイニシアチブと、電撃的な攻撃用の様々な種類の兵器開発に反対した。両国がこのイニシアチブに対抗するために共同行動を調整するのは明確だ。両国のこの連帯が書面に記載され、両国首脳の名によって証明されたのは初めてのことだ。

なおプーチン大統領の中国訪問の経済的要素だが、両国はいま何らかの新たな大規模取引の発表から、プロジェクトの前進に移行した。これらのプロジェクトは最近2年間で実行されている。現在の課題は、合意を成し遂げることだ。」

<http://bit.ly/28XN5c0>

## **Brexit がフィンランドを E U 離脱に駆り立てた**

(スプートニク 2016 年 06 月 26 日 19:50)

◎ Sputnik/ Vladimir Astapkovich <http://bit.ly/28XMZ1G>

フィンランドで、E U 離脱の是非を問う国民投票の実施を求める請願書の署名集めが始まった。Yle が伝えた。請願発起人となったのは、連立与党に加わる反 E U を掲げる政党「真のフィンランド人」の青年組織のリーダー、セバスチャン・チュンクキュネン氏。

チュンクキュネン氏によると、フィンランドは「自由になる」べきだという。同氏は、「E U は欧州でカオス（混乱状態）を引き起こしているだけだ」と考えている。チュンクキュネン氏は、国民投票を 2017 年 12 月に実施することを提案した。請願には2日間で約1万人が署名した。議会で審議されるためには少なくとも5万人の署名が必要。なおフィンランドでは2013年にも同様のイニシアチブがなされ、当時約3万人が支持した。

<http://bit.ly/293tHlx>

## **ジョージ・ソロス氏：E U 崩壊は事実上、不可逆的**

(スプートニク 2016 年 06 月 26 日 23:44)

◎ Flickr/ Heinrich-Böll-Stiftung <http://bit.ly/28XE18u>

米国の著名な投資家で大富豪のジョージ・ソロス氏は、英国の E U 離脱後の E U 崩壊は「事実上、不可逆的だ」と指摘した。またソロス氏によると、英国は近い将来、経済的な損失を被るという。「Project Syndicate」が報じた。ソロス氏は、「今、多くの人が恐れていた破滅的なシナリオが数学化され、E U 崩壊を事実上、不可逆的なものとした」と述べた。ソロス氏は、大規模な衝撃が英国を待っているようなことはないが、深刻な損失は被るだろうとの見方を示した。ソロス氏はまた、「E U を離脱した英国は、最終的に他の国よりも繁栄するかもしれないし、そうならないかもしれないが、英国経済と住民は中、短期的に損失を被るだろう」と述べた。

<http://bit.ly/28Yqocm>

## イラクでさらにもう一つの都市が「イスラム国」から完全解放される

(スプートニク 2016年06月26日 20:58)

© AP Photo/ Iraq Counterterrorism Service <http://bit.ly/28XzX5q>

イラク中部ファルージャが、テロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）」から完全に解放された。AP通信が、ファルージャ解放作戦の司令官の発言を引用して伝えた。

イラク西部アンバル州にあるファルージャは、2014年初めから「ダーイシュ」に支配されていた。

イラクのアバディ首相は5月23日、ファルージャ解放作戦の開始を発表した。軍がシーア派民兵組織の支援と、米国主導の国際有志連合の空爆による支援を受けて複数方向から攻撃を行った。

ファルージャは首都バグダッドに近いので、イラク当局にとって同都市を管理下に置くことは重要だ。「ダーイシュ」はバグダッドの西方65キロに位置するファルージャを攻撃の拠点としていた。

<http://bit.ly/28WFr28>

## スコットランド、英EU離脱に拒否権発動か

(スプートニク 2016年06月27日 05:55)

© Flickr/ First Minister of Scotland <http://bit.ly/29eKZo4>

スコットランド自治政府首相ニコラ・スタージョン氏は、スコットランドは英国のEU離脱に拒否権を発動する可能性があるとして、BBCのインタビュー中に述べた。スタージョン氏によると、6月23日に行われた国民投票では51.9%がEU離脱に賛成票を投じたが、62%のスコットランドの有権者はEUとの関係断絶に反対したことを根拠に、拒否権を発動する可能性があるという。英国のEU離脱（Brexit）の是非を問う国民投票は23日に実施された。Brexit派が得票率51.9%で勝利した。

<http://bit.ly/29eKrlz>

## 独3分の1、EU独立を問う国民投票支持

(スプートニク 2016年06月27日 07:59)

© AP Photo/ Markus Schreiber <http://bit.ly/1U96nhd>

ドイツの住人の実質的に3分の1の、29%の人が、EU離脱を問う国民投票実施という考えを支持している。これは民間の世論調査会社Emnidが実施した調査によるデータだ。独紙Bild am Sonntag

が 26 日 日曜日に報じた。しかし、63%の回答者が同様の提案を堅く拒否した。さらに、ドイツの 63%もの大多数の住人は、英国で行われた国民投票の結果に遺憾を示している。回答者の 11%のみが Brexit（英国の EU 離脱）という決定を肯定的に評価している。しかし同時に、67%のドイツ人は英国での国民投票の結果は EU の抜本的改革の必要性を物語っていると述べている。

<http://bit.ly/293wlnC>

### **原油価格 Brexit 決定を受け下落を続ける**

（スポーツニク 2016 年 06 月 27 日 14:19）

© Fotolia/ Tarasov\_vl <http://bit.ly/1MqvB9p>

27 日、投資家らが依然として英国の EU 離脱（Brexit）に関する決定を評価しているため、原油価格が下落を続けている。モスクワ時間で 6 時 49 分の時点で、ブレント原油先物 9 月の価格は 0.31% 値下がりして 1 バレル = 48.89 ドル、WTI 原油先物 8 月の価格は 0.55% 安の 1 バレル = 47.38 ドルとなった。

<http://bit.ly/291ptqy>

### **韓国 北朝鮮のダム無断放流を危惧**

（スポーツニク 2016 年 06 月 27 日 16:39）

© AFP 2016/ Jung Yeon-Je <http://bit.ly/104MnrE>

韓国は、北朝鮮が臨津江（イムジンガン）上流の黄江（ファンガン）ダムを無断放流するのではないかと危惧している。聯合ニュースが報じた。韓国国防省の報道官によると、韓国軍が無断放流に備えて準備しているという。

聯合ニュースによると、韓国と北朝鮮を隔てる非武装地帯から北に 40 キロの位置にある黄江ダムでは、今年 5 月から高い水位が維持されている。無断放流された場合、30 分で韓国内の郡南（クンナム）ダムに水が達するという。

聯合ニュースは、北朝鮮が 5 月 16～17 日に黄江ダムを事前通知なく放流し、河川の水位が上昇したと指摘している。一方で韓国国防省の報道官は、これを北朝鮮による「水攻撃」とみなすことはまだできないと指摘した。

<http://bit.ly/28ZXJPL>

## ロシア中央銀行 北京に初の駐在員事務所開設へ

(スプートニク 2016年06月27日 16:53)

© Sputnik/ Evgeny Biyatov <http://bit.ly/1PnsWbx>

ロシア銀行は、同行初となる駐在員事務所を北京に開設する。ロシア銀行のホームページで伝えられた。ロシア銀行は、「ロシア連邦中央銀行と中国人民銀行は、北京にロシア銀行の駐在員事務所を開設する協定に調印した」と発表した。

中国にロシア銀行の駐在員事務所を開設することで、中国人民銀行とロシア銀行の協力の強化や、金融部門における協力の発展、貿易・経済関係の拡大が促進されるという。

<http://bit.ly/293HhzD>

## スコットランド議会議員：スコットランド議会は Brexit に拒否権を発動できない

(スプートニク 2016年06月27日 17:34)

© AP Photo/ David Cheskin <http://bit.ly/290arPH>

スコットランド議会は、英国のEU離脱 (Brexit) を阻止することはできない。保守党議員で法律学の教授のアダム・トムキンズ氏が、ツイッターに書き込んだ。

トムキンズ氏は、「ホリールード (スコットランド議会) が Brexit を阻止、または拒否権を発動する権利を有しているという多くのナンセンスが出現した。ホリールードにそのような権利はない。ホリールードが有しているのは同意を示す、あるいは同意するのを拒否する権利であり、同意の拒否は阻止とは違う」と伝えた。

<http://bit.ly/29aqQkj>

## 地質学者：北京は徐々に地中へ

(スプートニク 2016年06月27日 17:42)

© Fotolia/ SeanPavonePhoto <http://bit.ly/1P20Q9Z>

国際研究グループが北京は徐々に地中に沈んでいっていることを発見した。地下水の過剰揚水と岩石の破壊のため、中国の首都北京は念 11cm 沈下している。論文はリモートセンシング誌に掲載された。

研究グループによると、北京の沈下は住人の安全を脅かし、高速鉄道システムに破壊的な作用を

及ぼす可能性がある。地形の標高の変化は、土地の起伏のわずかなひずみを記録することができる技術、インサー（InSAR）を使い計測された。沈下が最もはっきりと観測されたのは、超高層ビル、環状道路そして他の都市インフラが豊富にある北京市朝陽区だ。

北京は何千年もの間地下水が蓄えられてきた平野の上に位置する。さく井や揚水により、岩石は乾燥したスポンジのように密になり始めている。都市部や近郊には緑化や農業に利用されている数万の井戸がある。

<http://bit.ly/293I4A0>

### **Brexit がテキサスの独立支持派を刺激**

(スプートニク 2016年06月27日 19:16)

© Sputnik/ Aleksey Filippov <http://bit.ly/28VEvtZ>

「テキサス・ナショナリスト運動」のダニエル・ミラー会長は、英国のEU離脱（Brexit）に刺激され、テキサス州の米国からの独立の是非を問う住民投票の実施を計画している。27日、英インディペンデント紙が報じた。

ミラー会長は、「今テキサスにとってはBrexitをインスピレーションの源として、そしてテキサスの住民が自分の運命を制御できる例として見るのが重要だ。テキサスの住民が我々と一緒に独立国となる権利を求めて戦う時が訪れた」と語った。インディペンデント紙が伝えた。

同紙によると、ミラー会長は、英国での国民投票の結果が発表された後、テキサス州のグレッグ・アボット州知事に住民投票の実施について問い合わせたという。また「テキサス・ナショナリスト運動」は、BrexitをもじってTexitという新たなスローガンを掲げた。

またBrexitは、カリフォルニア州とバーモント州でも米国からの独立支持者を活気づけた。テキサス州の人口は約2,750万人、経済規模は世界第10位に相当し、年間総生産は1兆6,000億ドル。

<http://bit.ly/290i8Vh>

### **A I I B 総裁：A I I B は 2017 年初めに加盟国が増えることに期待している**

(スプートニク 2016年06月27日 18:56)

© AFP 2016/ Wang Zhao <http://bit.ly/28YH5z2>

アジアインフラ投資銀行（A I I B）は、2017年初めに加盟国が増えることに期待している。A I I Bの第1回年次総会の開会式で、A I I Bの金立群総裁が述べた。総裁によると、A I I Bの

加盟国は 2016 年末までに 100 ヶ国にまで拡大される。加盟申請の受け付けは 2016 年 9 月末まで。

<http://bit.ly/29720oA>

### ロシア特殊部隊に世界最小のランチャー

(スプートニク 2016 年 06 月 27 日 19:45)

© Sputnik/ Sergey Pivovarov <http://bit.ly/2972L0D>

トウーラ器械製造設計局で製造された、何度も使用できる世界最小の擲弾砲「ブル」が対テロ班の装備として採用された。イズベスチヤ紙が報じた。ランチャーの長さは 74.2cm、手榴弾込みでの重さはたったの 3.5kg だ。

設計局がイズベスチヤ紙に伝えたところによると、いつでも戦闘行動を行える世界最軽量のグレネードランチャーを作るという課題が開発者の前に立っていたという。設計局はこう述べた。「国による試験を成功裏に通り、兵器として採用された」。

「ブル」の威力は TNT 火薬換算で、およそ 6 kg 相当、有効射程は 650m、最大射程距離は 900m を越える。爆薬は少なくとも 30 m<sup>3</sup>、つまりおよそ 16 m<sup>2</sup>の住居を完全に焼き尽くすのには十分だ。

<http://bit.ly/28YHDEV>

### 急逝イワノフ編集長、研究者から相次ぐ無念の声

(スプートニク 2016 年 06 月 27 日 20:34)

© Sputnik/ <http://bit.ly/2901ViF>

6 月 19 日に 58 歳の若さで急逝したスプートニク日本語課のアンドレイ・イワノフ編集長。そのあまりにも突然の死に驚き、死者を悼む声はやむことがない。

現在、ロシア戦略調査研究所の副所長でスプートニクにも何度もインタビューを寄せてくださっているボリス・ヴォルホンスキー氏。氏は「コメルサント」紙でイワノフ氏と同時期に勤務していた長年の親友だった。

「アンドレイと知り合ったのは 1998 年、彼が『コメルサント』紙、外交政策部に入ったときだった。机を並べて働いた年月は 10 年近くになる。

コメルサント紙ではアンドレイは東アジア、アジア太平洋地域に関しては常に一番の専門家だった。アンドレイのこの地域に対する知識は見事の一言につきる。彼は日本語、中国語を独学でもの



にしていた。

それといつも彼に驚かされていたことがある。うちの部には8人いたのだが、テキストも書いてしまったし、何もやることはないけれど、編集部が読んで判子をおしてくれるまで席を離れるわけにはいかないという時、部屋の中はがやがやしてくる。みんな大声で話しだし、アネクトート（小話）などいろんな話をし始める。ところがそんな騒がしい中にあってもアンドレイは落ち着き払って読書にふけっていられた。たとえば朝鮮語の教科書に没頭するとか。そうして彼は独りで勉強していた。

だからといって彼は内向的だったとか、社会からはみ出した人間だったとかという事ではぜんぜんない。全く逆だった。自由時間には彼と卓球をしたり、当時のコメルサントの社内にあったサウナに通ったりしたものだった。卓球、上手だったなあ。でも僕が惨めな思いを味わうほどではなかった。時には僕が勝つことだってあったから。

その後、ふたりともコメルサント紙を出てもつきあいはずっと続いた。『ロシアの声（現在のスプートニク）』で働くアンドレイは定期的にコメントを求めて僕に連絡してきていた。最後に僕らが話をしたのは6月はじめ。彼の突然の死のわずか2週間たらず前だった。

僕らの共通の友人が電話をしてきて、アンドレイがもうこの世にいないといったとき、最初は全く信じられなかった。まだずっと若く、エネルギーに溢れ、人生をこんなに愛している人間がなんだってこんなに急にそこから立ち去れるんだ？ だが残念ながら、こんなこともまた起こり得るのだ。どうか安らかに眠っておくれ。君のことは僕らは永遠に忘れないよ。」

#### アンドレイ・イワノフ氏、2002年撮影

◎ 写真：イヴァノフ氏遺族 <http://bit.ly/28YYgmX>

<http://bit.ly/2941Wbd>

#### ベルギー元首相：EUはよりコンパクトになるべき

（スプートニク 2016年06月27日 20:16）

◎ Sputnik/ Alexey Filippov <http://bit.ly/29186pK>

共同体としてのEUはよりコンパクトになるべきだとベルギーの元首相であり欧州議会の欧州自由民主同盟会派の現代表ヒー・フェルホフスタット氏は考えている。ベルギーのテレビ局VTMの放送中氏はこう述べた。欧州超国家は私は絶対にいやです。私は反対のことを望みます：より大きくない欧州。

フェルホフスタット氏によると、「今日のヨーロッパは、国家連合で、機能していない。なぜなら私たちは（問題解決の際）常に28の国家と政府の長を必要とするからだ」。また、フェルホフス

タットはこう警告する。「もし私たちが何もしなければ、それは終わりの始まりとなる可能性がある」。23日、英国でEU離脱の是非を問う国民投票が実施された。24日に発表された公式情報によると、英国国民の51.9%がEU離脱を支持した。

国民投票前に発表された多数の世論調査では、EU残留派が優勢であり、大半の投票者が英国はEUに残留するとの確信を持っていた。そのため大勢の投資家やアナリストらは国民投票の結果に大きなショックを受け、英国のEU離脱（Brexit）の決定を受けて原油価格は6%下落した。

<http://bit.ly/29avvTu>

## **EUの新安全保障戦略は露との協力提案—FT**

（スプートニク 2016年06月27日 20:13）

© Flickr/ Giampaolo Squarcina <http://bit.ly/lhfmnxE>

EUの新安全保障戦略はロシアとの協力を提案していると、文書の草案を読んだフィナンシャルタイムズが伝えた。さて、書類にはこう書かれている。ロシアとEUは「相互依存」と。また、こうも書かれている。「EUは積極的にロシアを危機解決と相互利益の問題についての対話に引き込む必要がある」。

さらに、ロシアからの「戦略的呼びだし」に「システム化された統一された答え」の必要性が述べられている。しかし、フィナンシャルタイムズが書くには、新戦略は和解の段階的なプロセスをほのめかしているが、EU諸国の一連の外交官によると、英国のEU圏離脱のあとはそのプロセスは加速する可能性がある。EUの外務大臣にあたる外務・安全保障政策上級代表、フェデリカ・モゲリーニ氏は、水曜日に開催されるEUサミットで書類を提出する。

<http://bit.ly/2913W2f>

## **Brexitで金価格が急騰？**

（スプートニク 2016年06月27日 20:36）

© Fotolia/ Darknightsky <http://bit.ly/1LzZHHu>

英国での国民投票の結果を受けて投資家らがより安全な投資先を探しているため、金価格が急激に上昇している。英国のEU離脱（Brexit）の決定は、世界の金融市場、経済、通貨、また世界の各中央銀行の政策に大きな影響を与えるだろう。

これは金市場でまもなく金の価格が急激に上昇するさらなる原因が生じることを意味している。金価格の急騰はすでに始まっている。24日、金先物8月限の価格は59.30ドル（4.7%）値上がりし

て1オンス=1,322.40ドルとなった。

シンクフォレックスのチーフマーケットアナリストのナイル・アスラム氏は、EUの他の加盟国も英国の例に従う可能性があり、欧州の状況は深刻化するかもしれないと考えている。アスラム氏はこれを考慮し、金価格は今年末までに1オンス=1,500ドルまで値上がりする可能性があるとの見方を示している。

<http://bit.ly/2914jtB>

### **ロシアのSu-24のパイロット殺害容疑の男の裁判始まる、トルコ**

(スプートニク 2016年06月27日 21:11)

© REUTERS/ Stringer <http://bit.ly/2975Lu4>

ロシアのパイロット、オレグ・ペシコフ氏殺害容疑が以前は晴れたが、武器の違法な保管ないし所持で罪を問われているトルコ人アルプアルスラン・チェリク容疑者の裁判の過程が、トルコ西部にあるイズミルで、月曜日27日に始まった。高い安全確保対策の条件の下、法廷審問はモスクワ時間13時に始まった。法廷への通路は約15人から成る武装した私服の警察と特殊部隊グループによって警護されている。ロシアのマスメディアは席が足りないという口実の元、法廷に通されなかった。

チェリク容疑者は、同時に逮捕された7人から成るメンバーの一員として裁判官の下に現れた。グループからは、カラシニコフ自動小銃、ライフルやピストルが押収され、武器の違法所持の容疑がかけられている。チェリク容疑者和其他の容疑者は、もし裁判で武器の違法所持の罪状が認められた場合、5年から8年の懲役刑が見込まれている。チェリク容疑者本人は、この容儀を認めておらず、武器は彼のものではなく、チェリク容疑者と同様にシリアで以前戦闘行為を行っていた、逮捕されたメンバーの一人のものだと証言している。

<http://bit.ly/294np0u>

### **クリル諸島で第二次世界大戦時代の日本のポンプ場発見**

(スプートニク 2016年06月27日 23:16)

© Sputnik/ Roman Denisov <http://bit.ly/1PsYvC2>

クリル列島（千島列島）のマトゥア島（松輪島）がロシア国防省と地理学協会が現地調査を行った際、保存状態のいいポンプ場が発見された。アレクサンドル・ゴルデーエフ東部軍管区広報部長が月曜日27日に伝えた。

「ポンプ場は2つのコンクリート製建造物で、非常に保存状態がいい。内部ではケーブル、パイプライン、ポンプ、そして様々な部品が見つかった。各ユニットには、感じ付きの日本のマークがあった」とゴルデーエフ広報部長は述べた。

丘の斜面の地区では地盤調査が続けられているという。特別な重機を用いて、調査隊は未踏の地下の建造物を確定するため、地面に通路を空けている。

<http://bit.ly/2914SU6>

### **スノーデン氏、裁判所を通じたノルウェーへの嘆願失敗**

(スプートニク 2016年06月27日 22:53)

© East News/ Courtesy Everett Collection <http://bit.ly/1RhfyIE>

オスロ裁判所はエドワード・スノーデン氏のノルウェーに対する嘆願を検討しない。嘆願書は2016年4月、氏がノルウェーから米国に引き渡されないための法的保証を得るために出された。

作家、詩人、ジャーナリストの同盟であるノルウェーPENクラブは2016年3月、スノーデン氏にオシエツキー賞を授与すると決定した。授賞式は11月18日を予定。授与決定のあとPENクラブは、ノルウェーの首都オセロで授章者を見ることを望む旨を発表した。

その後、スノーデン氏が授賞式出席のためノルウェーに入国した場合、ノルウェーは氏を米国に引き渡さないという法的保証を手に入れるため、ノルウェーの弁護士がノルウェー政府に対する法的プロセスを始めたことが明らかになった。

カール・フォン・オシエツキーは、ドイツの平和主義者でありジャーナリスト。そして1935年には表現の自由のための業績をたたえられノーベル平和賞を受賞した。

<http://bit.ly/293LQdz>

### **ロシアで活躍する木下順介監督、俳優業との両立・モスクワ国際映画祭の価値について語る**

(スプートニク 2016年06月27日 23:37 徳山あすか)

◎ 写真: <http://bit.ly/28ZF0r2>

ここ数日モスクワでは真夏日が続き、街は23日に開幕した国際映画祭で盛り上がっている。スプートニクは、モスクワで映画監督、俳優として活躍する木下順介氏にインタビューを行った。本稿ではインタビューの抜粋をご紹介します。木下氏によれば、モスクワ映画祭は「日本人にとって、とても良い映画祭」だという。

**木下氏：**「モスクワ国際映画祭は、日本の映画をとっても高く評価してくれている映画祭です。新藤兼人監督や黒澤明監督の時代から密接なつながりがあり、マーケッターやプログラマーも毎年、日本の映画をどういう風に上映するか、今どんな映画が日本にあるのかを常に見ています。映画祭にはそれぞれのカラーがあります。世界四大映画祭（カンヌ、ヴェネチア、ベルリン、モスクワ）のうち、モスクワ国際映画祭は『しぶい映画』と言いますか、内容の深い作品が出品できる余地のある映画祭ではないかと思います。」

木下氏は今年の春に行われた、クラスノゴルスク国際スポーツ映画祭で審査員を務めた。審査員は純粹に映画の出来栄を見て評価をつけていくわけだが、時として、最終的な審査結果が（審査員の上でだが）当初の審査結果と違うこともある。映画祭には商業的な側面が付き物なので、「映画祭の事実を目の当たりにした部分もあった」と木下氏は話す。しかし、いずれにしても、映画祭のコンペ作品としてノミネートされている時点で、映画としてかなりのハイレベルであることは間違いない。賞を取るかどうかは、審査員の好みや時代によっても左右される。大事なのは映画祭に出るか出ないかだ。

**木下氏：**「今回のモスクワ映画祭もそうですが、世界中から莫大な数の作品が来ますから、その中からコンペティション作品として7~8本の中に選ばれ、『映画祭のまな板』の中に上がることが、映画祭の中で一番大変であると感じています。また、コンペ作品には選ばれなくとも、映画が何らかの形で映画祭で上映されれば、監督、プロデューサー、俳優たちも映画祭に来てレッドカーペットを歩くことができます。それは映画人として、ものすごく大きなことですし、将来への励みにもなります。」

木下氏は俳優としての活躍も目ざましく、ロシアの戦争ドラマ「勲章」やコメディドラマ「永遠の休暇」などに多数出演している。6年前にロシアへやってきた当時は全くロシア語がわからなかったため、まさか役者をやることはないだろうと思いきや、当初の予想とは裏腹にどんどん仕事が来ている。もちろんこれは、日本で長い間俳優として活躍していたからに他ならない。木下氏は「日本の教育にも感謝しているし、それをロシアで発揮できているというのは、不思議なものだが嬉しい」と話す。

**木下氏：**「自分が頑張って仕事をするだけで扉を開いていけば、ロシアの演劇・映画の分野で頑張っている日本人の学生が、そのままロシアに残って活躍できる土壌を作れるのではないかと思います。そうして人が増えれば、役も増えていくものなのです。役者として、何語であろうともしっかり演技できる力をもっていれば大丈夫です。日本の俳優はとても器用で、周りを見てしっかり集中して演技をする能力に長けていますから、世界中で活躍できると思うのです。語学が苦手だからといって海外へ行けない、と思う必要はなく、相手にとって、必要な情報を発信する人であるかどうかの方が大事です。」

映画製作のような大きな仕事をするとき、一つのチームの中には、世代・国柄・価値観に起因する様々なギャップがあるが、重要なのはそのギャップをマイナスに出さず、目的に対して一つになり、結果を出すことである。木下氏は近年、監督としてドキュメンタリー映画「魂」（『終わりの時と始まりの時』および『ポリシヨイ卒業』）を製作した。ポリシヨイバレエ団の元ソリストで、

現在は国立ブリヤートオペラ・バレエ劇場バレエ団芸術総監督を務める岩田守弘さんに密着したものだ。同作品はドキュメンタリー映画の登竜門とも言える映画クラブ「ロシアの道」で、日本人監督の作品として初めて上演され、最高の観客動員数を記録した。

木下氏は、夏は主に俳優業、冬は監督業を中心に仕事をしている。現在、何本かの映画が企画段階に入っており、脚本はロシア語に訳されている。また、自らの監督作品だけでなく、今年の春にモスクワで撮影された今関あきよし監督の映画「ライカ-Laika-」にはラインプロデューサーとして参加している。これをロシアで広めていくことも目下の仕事のひとつだ。モスクワでますます存在感が高まる木下氏の仕事に、これからも注目したい。

木下順介氏のフル・インタビューは、スプートニク・サウンドクラウド「話題のテーマ・インタビュー」コーナーの「木下順介氏、ロシアでの監督・俳優業の醍醐味と、モスクワ国際映画祭について語る」でお聴き頂けます。コメディドラマ「永遠の休暇」予告動画（木下氏はコック役で出演）

動画 <http://bit.ly/29308Jq>

<http://bit.ly/2979U0z>

### **トルコ大統領 スホイ 24 撃墜についてプーチン大統領に謝罪**

(スプートニク 2016 年 06 月 28 日 14:15)

◎ AFP 2016/ Adem Altan <http://bit.ly/2908hyF>

トルコのエルドアン大統領がロシアのプーチン大統領に書簡を送り、ロシアのスホイ 24 型機がトルコによって撃墜された事件について、死亡したパイロットの家族に哀悼の意を表し、「申し訳なかった」と述べた。ロシアのペスコフ大統領報道官が伝えた。ペスコフ大統領報道官は、「トルコ大統領は書簡で死亡したロシア人パイロットの家族に同情と深い哀悼の意を表し、『申し訳なかった』と述べた」と伝えた。昨年 11 月、トルコの戦闘機がシリア領内でロシアのスホイ 24 型機を撃墜し、パイロットのオレグ・ペシコフ氏が死亡した。

<http://bit.ly/28Zr2F6>

### **ペスコフ氏：露、英 EU 離脱決定の過程に介入する気はない**

(スプートニク 2016 年 06 月 28 日 04:29)

◎ Sputnik/ Host photo agency/Vladimir Astapkovich <http://bit.ly/1Q9j0rp>

ロシア政府は英国が EU を離脱するか否かに関する予想を立てないが、英国政府の声明は記録し、イギリス領内での事態の成り行きは追っている。ロシアのドミトリー・ペスコフ大統領報道官は月

曜日 27 日、記者団にそう伝えた。ペスコフ氏はこう述べた。

「これは私たちの問題ではない、全くもって。そしてもう一度言うが、このような決定を取り、このような決定の結果を EU 本部と審議するのは完全にイギリス人の特権だと、プーチン大統領は述べている。そしてロシアはここで言うまでもなく、どのような方法でも介入するつもりはなく、何かしらのやり方で自らの関与を示すつもりもない。私たちはイギリス国会の発言を記録している。彼らは非常に矛盾していて、私たちはまさにここに立脚して、状況はいまのところ非常に不可解で予測がつかないと述べている」ペスコフ氏はこう語った。

<http://bit.ly/290q0Gw>

### **いつ英は EU 離脱？ 英国女王は離脱へ拒否権発動可能？**

(スプートニク 2016 年 06 月 28 日 05:58)

© AP Photo/ Gero Breloer <http://bit.ly/294svur>

先週、英国で EU 離脱が可決された。結果発表のすぐ後、デビッド・キャメロン首相は秋に退陣し、EU 離脱の過程は首相後継者が始めるだろうと発表した。キャメロン首相は、経済を安定させるよう努力すると約束した。

英国の EU 離脱プロセスはリスボン条約第 50 条に規定されている。条約によると、離脱のためにはその国は EU に対応する通牒を送る必要がある。その後、EU 諸国と機関は 2 年間に渡り新たな共同行動へのフォーマットについての話し合いをする必要がある。そして、この期間を過ぎると、話し合いの結果のいかんにかかわらずその国は EU を離脱する。

EU へ離脱通牒を送る可能性のある次期首相は、9 月ないし 10 月に就任するだろう。これはつまり、実質的に英国が EU を離脱できるのは早くても 2018 年秋だということだ。

また、英国では EU 離脱の見直しが起こっている。EU 離脱に賛成していた多くの政治家が、今では急がないように、そして様々な面から状況を検討するよう呼びかけている。米ビジネスインサイダーが伝えるところ、英国の EU 離脱に関する外交文書は 2017 年に予定されているドイツや他国での選挙のあとに送られる可能性があるという。

また忘れてはいけないのは、英国は法令上、事実一定の権限を持っている君主に治められている。もし、英国議会が国の EU 離脱に関する法律に署名しても、エリザベス女王陛下は国益に反する書類に対し拒否権を突き出すことができるのだ。

<http://bit.ly/297bBeV>

## 英国の国民投票で即EU離脱ではないが日本は最少リスクも見逃せない

(スプートニク 2016年06月28日 08:16 リュドミラ・サーキャン)

© AP Photo/ Shizuo Kambayashi, File <http://bit.ly/1RSB30x>

英国の国民投票の結果発表後、下落した証券インデックスも回復し、為替市場も比較的安定化してきたが、日本には先行き不透明感が残されている。そうしたアクチュアルな問題の一つが日本とEU間の自由貿易合意の今後だ。この自由貿易合意には双方ともが関心を払っている。安倍首相は今年5月の日本で開催されたG7サミットで「我々はこれが2016年末までに行なわれると考えている」と語っている。ところが今、林経済産業相の評価では課題は容易くはない。

コンサルタント企業「アルパリ」のアナリスト、アンナ・ボドロヴァ氏は合意締結は多くは日本の出方にかかっているとして、次のように語っている。

「私はこれを阻害するものは何もないと思う。なぜならば合意締結は個別の国が相手ではなく連盟の形をとるものだからだ。連盟はまだ存在しているし、現在それを脅かしているものはない。英国人が表した意思はEUからの離脱ではまだない。ただ英国議会は国民の意思の表れをこれから考慮していかなければならないということだ。この先、とりうる形はいくつかある。キャメロン首相は10月に辞職することを明らかにした。議会は新たな首相を選ぶが、その新首相が再び国民投票を実施しようとするかもしれない。再度国民投票が行なわれたとして、元の状態に戻る可能性もかなり高い。もうひとつのパターンだが仮に英国政権がEU離脱の準備を始め、その結果を計算したとしてもひょっとするとこの問題の検討をタイムアウトにしてしまう可能性もある。これにはかなりの時間がかかる。だが合意締結は多くは日本の出方にかかっている。日本にとってEUとの自由貿易合意は英国のリスクより大きな意味を持つかどうか。私は持つと思う。このためここでは特別な障害は一切あるはずがない。ありうるのは何らかの形式、追加条項だろうが、合意案自体が何かに阻害されるという事はありえないと思う。」

6月27日月曜、安倍首相は日銀に対し必要となれば英国で事業を行なう日本企業に対して財政資金を拠出するよう呼びかけた。こうした企業数は1,000社にのぼる。これらの多くにとって英国は単に主たるマーケットの1つにとどまらず、EUへの「窓」の役目を果たしている。

危険にさらされてしまったのは英国で出された許可書を有し、EU全体にサービスを提供する権利を持っている巨大金融コーポレーションだ。たとえば野村ホールディングスの死者もそうだ。ロンドンで働く野村の社員は2,500名いる。状況がうまい方向に発展しなかった場合、オフィスをパリかフランクフルトに移さざるを得ない事態もありうる。ロンドンに本社を置くキャノンも戦々恐々としている。このオフィスは欧州、アフリカ、中東での年間1兆円の売り上げを管理している。日立だって憂慮する理由は十分にある。日立は主たるライバル企業である独のシーメンスに対抗しようと、欧州市場に生産拠点を近づけるために鉄道担当部門のヒタチ・レールウェイ・システムズをたった2年前、日本から英国へ移したばかりだ。

困難な事態になると予想しているのは日本の自動車メーカーもそうだ。自動車メーカー各社は英



国をEU全体にオリエンテーションするためのベース基地ととらえてきた。まさにこの目的でトヨタ、日産、ホンダは英国に巨大な工場を建設してきた。日産の英国進出はすでに30年前からで、生産台数は年間50万台に上っており、その大半がEUに輸出されている。

ボドロヴァ氏は英国がEUから離脱した場合、タリフは上がる危険性があるとして、さらに次のように語っている。

「日本の輸出ではかなりの部分が欧州市場への供給でなりたっている。だから日本の産業界には安定した長期的パートナーと契約の堅実性を確保する事が重要なのだ。こうしたことの重要性は日本のパートナーらにとっても変わらない。特に最小限度の政治、経済リスクが影響してくる支払能力に話が及ぶとなればなおさらだ。ところが日本経済は今、最小限度のリスクでも軽視できる状態にはない。ここ数年、日本は経済を刺激するため巨額の資金を投入してきている。ということはつまり国家債務も常に膨れ上がっているということだ。現段階では日本政府はそれをどうするつもりなのかについては口をつぐんでいるがメーターは回り続けている。日本政府がインフレ、消費の活性化、GDPに関して掲げた目的を達成したとき、この国家債務に関する恐ろしい問題が立ち上がってくる。これにさらに長期的な貿易経済パートナーが両足を引きずり始めたならば、情勢は完全に容易いものではなくなってしまう。」

<http://bit.ly/29jglKg>

### キャメロン首相：Brexit 手続は新首相任命後に始まる

(スプートニク 2016年06月28日 11:01)

© Sputnik/ Alex McNaughton <http://bit.ly/296TNz2>

英国のキャメロン首相は、EUとの離脱交渉を行うのは新首相であるため、英国にはEUから離脱する方法を分析する時間があると述べた。キャメロン首相は議会で「EUから離脱するための唯一の方法は、リスボン条約第50条を行使することだ。そしてこれは、我々のパートナーたちが我々に実行を望んでいることだが、その中には、我々がそれを迅速に行うべきだと考えていない人々もいる。そのため私は、交渉で我々が提起したいモデルを分析し、その後で第50条を行使するためのある程度の時間があると考えている」と述べた。またキャメロン首相は、交渉を行うのは次期首相であることも確認した。

EUに関するリスボン条約第50条は、あらゆるEU加盟国はEUからの離脱に関する決定を承認できると述べている。離脱手続を開始するためには、離脱を決めた国がその旨をEUに通告しなければならない。その後、EUとの今後の関係の基盤を考慮しながら離脱に向けた交渉が行われる。

<http://bit.ly/291cup0>

## ドイツ外相：ウクライナのEU加盟が近い将来実現することはない

(スプートニク 2016年06月28日 13:30)

© REUTERS/ Valentyn Ogirenko <http://bit.ly/291d1YE>

ドイツ外務省のシェーファー報道官は、英国のEU離脱（Brexit）の観点からウクライナのEU加盟の見通しについてコメントした。報道官は記者団の質問に、「近い将来に外相（シュタインマイヤー氏）の前にも、全欧州連合の前にもウクライナのEU加盟問題が取り組むべき事柄として掲げられてはない」と述べた。

ウクライナは2014年にEUとの連合協定に調印したが、同文書は加盟を保証してはいない。先にユンケル欧州委員長は、ウクライナのEUあるいはNATOへの加盟には20～25年かかると述べた。

英国でEU離脱の是非を問う国民投票が実施されて離脱派が勝利した後、ウクライナでは同国のEU加盟が早まるという話が活発化した。ウクライナは英国の場所を占める用意があるとすぐさま発表した。

<http://bit.ly/290cZfF>

## ノルウェーでストの報を受け 原油価格上昇

(スプートニク 2016年06月28日 14:24)

© Sputnik/ В и т а л и й Т и м к и в <http://bit.ly/1VWyoKk>

火曜日、ノルウェーで近くストライキが行われ、西欧最大の北海油田の採掘量が減る可能性があるとの報を受けて、原油価格が上がっている。取引のデータがそれを裏付けている。モスクワ時間で07時21分の段階で、北海ブレント原油9月先物取引の価格が、1.24%上がり1バレル=48.36ドルとなった。またWTI（米国産標準油種）の8月先物取引の価格も、1.3%上がり1バレル=46.93ドルとなった。先に伝えられたところでは、ノルウェーの7ヵ所の油田及びガス田の労働者達は、賃金をめぐる労使交渉がうまく進まないことから、土曜日からストライキに入る予定だ。

<http://bit.ly/290aucg>

## トルコ 爆撃機撃墜に対する賠償金をロシアに支払う用意

(スプートニク 2016年06月28日 15:05)

© AP Photo/ Burhan Ozbilici <http://bit.ly/1kXXHwx>

トルコのエルドゥラム首相は「ロシアの爆撃機スホイ24型機撃墜に対する補償を、トルコ政府は

ロシアに対し行う用意がある」と述べた。先にロシアのペスコフ大統領報道官は「トルコのエルドアン大統領は、プーチン大統領にあてた書簡の中で、爆撃機撃墜について謝罪し、パイロットが亡くなったことに関連して哀悼の念を表した。また『トルコは、自らの戦略的パートナーであるロシアとの関係を損ないたくない』と述べた」と伝えた。

ロシアとトルコの関係は、昨年 11 月、トルコ軍機 F-16 が、ロシアの爆撃機スホイ 24 型機を撃墜し、さらにパラシュートで脱出したオレグ・ペシコフ飛行士を地上から銃撃し殺害した後、急激に悪化した。

<http://bit.ly/291f8vF>

### 英語 EUで公用語の地位を失う

(スプートニク 2016 年 06 月 28 日 16:03)

© Flickr/ bob <http://bit.ly/1Q6gweb>

英国の EU からの離脱後、英語は、EU での公用語としての地位を失う。欧州議会憲法問題委員会のダヌータ・ヒューブナー委員長が述べた。27 日月曜日、ロイター通信が報じた。委員長は「もし英国が EU のメンバー国でないのであれば、我々は英語を使わないだろう」と述べた。一方、米国の新聞 The Wall Street Journal は、今度はフランス語とドイツ語の使用に重点が置かれるだろうと報じた。なおこの報道は、EU の官僚も確認している。

28 日火曜日、欧州委員会のユンカー（ユンケル）委員長は、欧州議会で発言し「会議ではフランス語とドイツ語のみが使われ、英語は用いられないだろう」と述べた。これまでで英仏独の 3 カ国語で行われてきた議会活動の慣例が崩れることになる。

<http://bit.ly/290vFfE>

### 欧州議会 英国の迅速な EU 離脱手続きを呼びかける

(スプートニク 2016 年 06 月 28 日 18:58)

© Sputnik/ Alex McNaughton <http://bit.ly/291G8Ft>

欧州議会は、英国の EU 離脱手続きのためにリスボン条約第 50 条を迅速に活性化するように EU に呼びかけている。欧州議会の決議案の中で述べられている。決議案は、28 日にブリュッセルで開かれる緊急会議の結果に従い欧州議会議員らによって承認される見込み。

欧州議会の全会派が支持する文書では、「(欧州議会) は英国国民の EU 離脱の意向を念頭に置き、欧州連合条約第 50 条の迅速な活性化から開始して、人々の意思表示は全て、完全に尊重されるべき

であると強調する」と述べられている。

EUに関するリスボン条約第 50 条は、あらゆる EU加盟国がEU離脱に関する決定を承認できると述べている。離脱手続きを開始するためには、離脱を決めた国がその旨をEUに通告しなければならない。その後、離脱に向けた交渉が行われる。

<http://bit.ly/29aBqdY>

### **新しいNATO本部がナチスの「稲妻」を思わせるのは偶然か？（動画）**

（スプートニク 2016年06月28日 23:00）

◎ 写真: Damir I <http://bit.ly/29dNSXI>

恐らく、それはデザインとして失敗作と言っていいただろう。しかし、対ロシア国境地域において、NATO軍部隊の数が増えているという現在の状況下では、とてもシンボリックに見える。「あなた方及び将来の世代にとって」の新しいNATO本部の建物は、大きな反響を呼び起こした。建物は、独自のデザインにより、ナチス軍人のユニフォームの襟の所についている「稲妻」を不気味に思い起させるものになっている。

ナチスのシンボルが、NATOの大規模軍事演習「Anaconda War Games」に参加したドイツ軍部隊と共に、やってくる。この演習は、ナチス・ドイツによるソ連領内への宣戦布告なき侵入からちょうど 75 年目に当たる時期にポーランドで実施された。

**動画** <http://bit.ly/2939Igd>

米国にはこの他にもナチスのシンボルを彷彿させる建物がある。Google マップが登場した 2000 年代に、もう一つ興味深い発見があった。サンディエゴ湾（カリフォルニア州）にある米海軍兵学校の建物が、ハーケンクロイツ（鉤十字）と瓜二つだとして大きな議論を呼び、大勢の市民が建物の取り壊しを求めた。

**動画** <http://bit.ly/294Aab3>

<http://bit.ly/293a32i>

### **トルコ スホイ 24 型機撃墜に対する補償に関する発言を撤回**

（スプートニク 2016年06月28日 21:44）

◎ AFP 2016/ Adem Altan <http://bit.ly/292nrm6>

トルコのユルドゥルム首相は、11月にトルコに撃墜されたロシアのスホイ 24 型機について、トルコはロシアに損害補償する意向はないと発表した。ユルドゥルム首相は、「航空機に対するロシア

への補償についての話はない。我々は謝罪しただけだ」と語った。テレビ局 CNN Turk が伝えた。

また首相は、通信社 Anadolu の記者に「違う、違う、そんなものは全くない」と述べたという。なお先にエルドアン首相は、テレビ局 TRT の番組で、トルコは「必要であれば、スホイ 24 爆撃機撃墜の損害を賠償する用意がある」と述べた。

ロシアとトルコの関係は、トルコの F-16 戦闘機がシリアでロシアのスホイ 24 爆撃機を撃墜し、緊急脱出したパイロットのオレグ・ペシコフ氏が地上から銃撃されて死亡した昨年 11 月に著しく悪化した。プーチン大統領はこれをテロリストの共犯者らによる「背信行為」だとし、トルコに対して一連の制裁を発動した。

その後、アルパルスラン・チェリクがパイロット殺害に関与したとの声明を表した。4 月初旬、チェリク容疑者はトルコのイズミルで武器の不法所持容疑で逮捕された。容疑者は取り調べで、ペシコフ氏を銃撃したのは自分ではないが、戦闘グループの司令官としてその責任を負ったと主張した。イズミル検察庁は、「証拠不十分」としてチェリク容疑者に対するペシコフ氏殺害の訴追を取り下げたが、6 月 27 日に予審判事が審理を再開した。

また 27 日、トルコのエルドアン大統領がプーチン大統領に書簡を送り、スホイ 24 型機の撃墜について謝罪し、パイロットの家族に哀悼の意を表したほか、トルコはロシアとの関係が損なわれるのを望んでいないことが明らかとなった。

ロシア大統領府は、エルドアン大統領の書簡を両国関係正常化にとって重要な一歩だと指摘した。一方でロシアのペスコフ大統領報道官は、これだけでは不十分だとし、全ての問題を数日間で解決することはできないと述べた。

<http://bit.ly/29aCxu7>

## 日本の電力会社の株主たちが原子力エネルギーの放棄を呼びかける

(スプートニク 2016 年 06 月 28 日 20:29)

◦ Flickr/ Mad House Photography <http://bit.ly/1TbiKqF>

日本の大手電力会社の株主たちが、2011 年に福島第 1 原子力発電所で起こった悲劇を繰り返す危険性から、原子力エネルギーの放棄を呼びかけた。28 日、共同通信が伝えた。「RosRA0」率いるロシア企業のグループによって構築された福島のトリチウムを除去するためのテスト設備。

なお共同通信によると、福島第 1 原発を所有する東京電力を含む 9 社は、このような提案に反対しており、9 社の総会でいずれの議案も否決された。九州電力の複数の株主は、昨年再稼働した川内原発 1、2 号機（鹿児島県）の運転停止を求めたという。

共同通信によると、四国電力は7月に伊方原発3号機（愛媛県）を再稼働させる計画。他の電力会社も、福島第1原発事故後に運転を停止した原発を再稼働させる方針だという。

<http://bit.ly/296nQq4>

## トルコとの問題を数日で解決することはできないー露大統領府

（スプートニク 2016年06月28日 21:44）

◎ Sputnik/Host photo agency/Vladimir Astapkovich <http://bit.ly/1Q9j0rp>

ロシアのペスコフ大統領報道官は、トルコのエルドアン大統領がロシアのプーチン大統領に送った書簡で、トルコによって撃墜されたロシアのスホイ24型機について謝罪し、死亡したパイロットのオレグ・ペシコフ氏の家族に哀悼の意を表したことについて、エルドアン大統領はその書簡の中で両国関係改善のために非常に重要な一歩を踏み出したが、次なる行動が必要だとし、問題を数日間で解決することはできないと述べた。

ロシア大統領府は27日、トルコのエルドアン大統領が書簡の中でスホイ24型機の撃墜について謝罪したと伝えた。またエルドアン大統領は、死亡したパイロットのオレグ・ペシコフ氏の家族に哀悼の意を表し、トルコは戦略的パートナーと考えているロシアとの関係を損ないたくなかったと述べたという。

ペスコフ氏は、両国関係改善の方向へ「非常に重要な一歩が踏み出された」と指摘し、記者団に、プーチン大統領とエルドアン大統領が水曜日に電話会談を行うと語った。

ロシアとトルコの関係は、トルコのF-16戦闘機がシリアでロシアのスホイ24爆撃機を撃墜し、緊急脱出したパイロットのオレグ・ペシコフ氏が地上から銃撃されて死亡した昨年11月に著しく悪化した。プーチン大統領はこれをテロリストの共犯者らによる「背信行為」だとし、トルコに対して一連の制裁を発動した。

その後、アルパルスラン・チェリクがパイロット殺害に関与したとの声明を表した。4月初旬、チェリク容疑者はトルコのイズミルで武器の不法所持容疑で逮捕された。容疑者は取り調べで、ペシコフ氏を銃撃したのは自分ではないが、戦闘グループの司令官としてその責任を負ったと主張した。イズミル検察庁は、「証拠不十分」としてチェリク容疑者に対するペシコフ氏殺害の訴追を取り下げたが、6月27日に予審判事が審理を再開した。

また27日、トルコのエルドアン大統領がプーチン大統領に書簡を送り、スホイ24型機の撃墜について謝罪し、パイロットの家族に哀悼の意を表したほか、トルコはロシアとの関係が損なわれるのを望んでいないことが明らかとなった。

ロシア大統領府は、エルドアン大統領の書簡を両国関係正常化にとって重要な一歩だと指摘した。

一方でロシアのペスコフ大統領報道官は、これだけでは不十分だとし、全ての問題を数日間で解決することはできないと述べた。

<http://bit.ly/292H7rY>

## ルーブルから円への両替、もっと手軽に

(スプートニク 2016年06月28日 21:58 徳山あすか)

© Sputnik/ Ruslan Krivobok <http://bit.ly/291HQva>

外貨両替機設置および運営サービス「JPY外貨両替サポート」を展開する株式会社カレンシー・ワークスが、ルーブルを取り扱い通貨に追加する。この両替機のおかげで、ロシア人観光客が格段に手軽に、ルーブルから円に直接両替できるようになる。トラベレックスに代表されるような両替ショップはたくさんあるが、外貨両替機においてルーブルを扱うのは日本でこれが初めてだ。

政府観光局の統計によれば、日本を訪れたロシア人の数は、昨年2015年の1年間で約5万4千人。ルーブル安の影響で海外旅行に行くハードルは高くなっているものの、訪日者数は前年比115%と、堅調に伸びを示している。長期休暇が法律で認められているロシア人は、せっかく来たのだからと長く滞在するケースも多く、宿泊延べ日数が中国人、韓国人を上回るケースもあるという。しかしロシア・ルーブルは日本ではマイナーな通貨とみなされているため、限られた空港や大都市の両替ショップ以外では、ルーブルを円に両替できる場所はほぼ皆無だった。多くのロシア人が、あらかじめドルやユーロに両替した上で、日本へ現金を持ってきていた。

ルーブル以外には、米ドル、ユーロ、英ポンドをはじめとした17通貨を扱っている。外貨両替機の設置者、例えばホテルなどは、その中から好きな通貨（最大12通貨）を選ぶことができる。対面での外貨両替とは違った機械ならではのメリットは、万が一、偽札が混じっていたとしても機械が鑑定してくれることや、言葉ができなくても、設置者と利用者が互いに安心してサービスを利用することができる点だ。もちろん、対面両替所と違って、営業時間を気にすることもない。ルーブルに関して言えば100ルーブル（6月28日現在で約158円相当）札や50ルーブル札を含む全種類の紙幣を受け入れており、細かい金額でもその場で両替できる。

このサービスを展開するカレンシー・ワークスの高月照久代表取締役は、外貨両替機のニーズはより高まっていくだろうと見ている。

**高月氏：**「日本がインバウンドで盛り上がっているということもあり、両替機を設置したいというニーズは、とても強いですね。インバウンドというとアジアからの観光客が主ですが、エリアによってはロシアからのお客様がとても多いところもあります。インバウンドのビジネスをプロモーションしようという時に、まず外貨両替サービスを準備したほうがよいのではないかと考える施設は多く、少なくとも東京オリンピックまでには、外貨両替機のニーズはどんどん高まる一方だと思います。」

最もロシア人に人気のある桜の季節に向けてルーブル両替可能な両替機の設置が広がっていけば、日本旅行がより便利に、快適になることは間違いない。

<http://bit.ly/29mUtxY>

### **トルコのチャブシュオール外相 7月1日にソチでラヴロフ露外相と会談の意向**

(スプートニク 2016年06月28日 23:06)

◎ AP Photo/ Burhan Ozbilici <http://bit.ly/1obXLd3>

トルコのチャブシュオール外相は、7月1日にソチでロシアのラヴロフ外相と会談する意向。ロイター通信が、トルコ大統領報道官の声明を引用して伝えた。先にロシアのペスコフ大統領報道官は、プーチン大統領とトルコのエルドアン大統領が29日にロシアのイニシアチブで電話会談を行うと伝えた。

<http://bit.ly/29dQt3F>

### **ブラジル 監査人らはルセフ大統領が税不正に関与した証拠を見つけることができなかった**

(スプートニク 2016年06月28日 23:36)

◎ REUTERS/ Ueslei Marcelino <http://bit.ly/296purD>

ブラジル上院の独立監査人らは、大統領の職務が停止されたルセフ氏が、一時的な職務停止の理由の一つとなった税不正に関与した証拠を見つけることができなかった。監査人らの報告書によると、ルセフ氏は、野党が税不正だと指摘する国営銀行への10億ドル以上の送金延期に直接関与しなかった。Telesurが伝えた。また監査人らは、予算の支出増加について、それらの指示の4つのうち3つはルセフ氏が議会の同意なしに承認し、一つは合法的と認められているとの結論を出した。ルセフ氏の弾劾については、8月初旬に最終的に検討される。

<http://bit.ly/293R1MS>

### **金価格が再び下落 Brexitは投資家たちを怯えさせなかったのか？**

(スプートニク 2016年06月28日 23:39)

◎ Sputnik/ Vitaliy Bezrukikh <http://bit.ly/1U1zLkp>

英国のEU離脱(Brexit)の決定を受けて急騰した金価格が28日、一転して下落した。ニューヨーク商品取引所(COMEX)では日本時間で28日14時の時点で、金先物8月限の価格が6.2ド



ル (0.46%) 安の1オンス=1,318.60ドルとなった。

大多数の市場参加者は英国がEUに残留すると考え、Brexit派の勝利は予想外だったため、金を含む安全資産需要が著しく高まった。しかし28日、投資家らは再びリスク資産買いに戻った。なおアナリストらは、Brexit後の英国とEUの関係がはっきりしないため、将来的に貴金属の価格が上昇する可能性があるとは指摘している。通信社ブルームバーグが伝えた。

<http://bit.ly/296ppU0>

## 地下都市に何が遺されたか？ マトゥア（松輪）島の日本軍の遺物調査が終了へ

(スポーツニク 2016年06月29日 00:09 リュドミラ・サーキャン)

◎ 写真:Russian Geographical Society/Andrey Gorban <http://bit.ly/291JrRT>

クリル諸島の中心部に位置するマトゥア（松輪）島でのロシア国防省とロシア地理協会の合同調査隊は終盤を迎えている。調査では多くの発見があったが中でも最大級のものには日本の軍機だった。東軍管区のアレクサンドル・ゴルデーエフ広報長官は「機体は翼もありよい保存状態で第2次世界大戦時代の三菱のゼロ戦だったものと思われる。ゼロ戦の中隊はマトゥア島に置かれていた。シャシーには漢字がくっきり残されており、製品番号の1733と製造年の1942の数字が読み取れる」と語っている。

今年5月、ロシア国防省がクリル諸島の中心部に位置する無人島のマトゥア島に注視。専門的な検査機、設備、地質学者、化学者、生物学者から成る最強の調査隊が負った目的は2つあった。1つが太平洋艦隊のベースの一部を移すのにこの島が適切かどうかを知ること。もう1つがこの島を前の主の遺物を調査することだった。

マトゥア島についての最初の記述は1711年。ここにアイヌの村があった時代のことだ。つづいて日本の軍部が島に興味を持った。第2次世界大戦開戦前にはマトゥア島は強力な城砦、地下には塹壕が張り巡らされ、大小さまざまなトーチカ、空港、港湾設備を有していた。島での上陸戦は展開されなかったが米軍は定期的に海上からの爆撃を繰り返していた。

日本が全面降伏を宣言すると1945年8月下旬には日本軍守備隊は無抵抗でソ連のパラシュート降下隊に島を明け渡した。この際あらかじめ岸壁に掘られていたトンネルを爆破している。

第91歩兵師団の司令官、ツツミ・フサキ中将への尋問録には次のような一節が残されている。

「クリル諸島のなかでは松輪島（マトゥア島）が最大の意味を持っております。島は中間的な航空基地であり、同時に船舶の停泊基地でもあります。この島を奪取すれば北海道に対抗する行為とする場合の良好な基地が出来、また北方の島々との連絡を切断することも可能となるでしょう。米国はこの島に関心を抱いていました。このため日本は多くの軍力を投入し、堅牢な

防衛を築いたのです。この島には第5戦線本部に直属する第41混成大隊が駐屯しておりました。」

20世紀の半ば、マトゥア島にはソ連の対空防衛が置かれ、その後国境警備隊が駐屯していたが、そうした者たちは調査は行っていない。2001年、警備隊は退去されられ、島は無人工化した。だが日本軍の残したあまりに強力な軍事設備は歴史家らの胸を騒がせ続けた。これらの背後に歴史家らは一種の超越した軍事課題または機密があったのではないかとふんでいた。カムチャッカ半島のそうした研究者らが初めて独自の調査を開始したのは2003年だった。

研究者らは実際に目にしたものに驚愕し、その結果行われた調査回数は実に15回にも及んだ。そうした調査の全てに参加した学術指導員のイリーナ・ヴィテル氏はスプートニクからのインタビューに次のように語っている。

「この島を丹念に調査したのは私たちが初めてであり唯一だ。国防省と地理学協会の調査の計画段階では我々が集めた資料は最も完全で客観的な情報源となった。

島には縦横に壕、塹壕、人工的な洞窟が掘られている。島の北方は火山という自然の地形が防御壁となっていたが、後は全て日本の工兵らの手で強力な守備城砦が作り上げられている。マトゥア島の縦方向の沿岸は全て石または岸壁から掘り出された岩で密に組まれたトーチカが数珠繋ぎに環状に続いている。これらすべてのシステムは枝分かれした網目状の地下道を有していた。

ある丘の下にはおそらく司令官の官邸が置かれていたのか、地下の風呂場まであった。完全なる地下都市だ。その機能がなんであったのか、我々は結局明らかに出来ずじまいだった。

ここの地下には日本軍の細菌兵器ラボがあったとか、または原爆製造のベースキャンプだったなど様々な噂は流れたが、そのどれも証拠は見つけれられていない。それはまず地下設備の全てには到底潜入することはできなかつたし、それに今回の調査隊のようなすごい機器は我々は持っていなかったからだ。

その代わり我々は空港の滑走路を見つけていた。よい保存状態で機体の昇降のためのコンクリート製のスロープが設けられている。この数年で我々の発見したものは兵器から兵靴、台所用品まで枚挙に暇がない。マトゥア島に日本軍が残した遺物を並べたら博物館が数軒建ってしまうほどだ。島自体、野外の自然状態での戦争博物館といえる。」

カムチャッカの調査隊は日本人研究者らと何度も連絡を取ろうとしてきた。だがこうした照会にはほとんど回答が得られなかったという。

「ある時我々は日本の胸章かメダルのようなものを見つけた。磨いてみると文字が出てきた。下関市の幼年学校卒業とある。我々は外務省を通じて日本政権に対し持ち主を明らかにしてくれるよう要請し、もし親戚が生きておられたならば、その方々にお渡ししたいと伝えた。とこ

ろがそれに対する回答は『名前の解読は不可能』。こんな例は唯一ではなく、日本人とコンタクトしようとするとその度になぜかきまって無理解の壁に阻まれ続けてきた。」

イリーナ・ヴィテル氏は全ての調査が終わった結果、手元に残ったのは回答よりも疑問のほうが多くなったと語っている。日本の歴史家らとの協力が実現すれば、第2次大戦の歴史の新たなページが明らかにできるだろう。この調査の結果の続きについては今後の発表を待ちたい。

<http://bit.ly/28ZfU6t>

### **英国女王一家は、一体いくらかかる？**

(スプートニク 2016年06月29日 05:39)

© AP Photo/ Matt Dunham <http://bit.ly/29aGIXa>

昨年、英国の納税者は、女王一家のために4千万ポンドを費やした。そのうち1,600万ポンドは、宮殿その他の建物の維持費に向けられた。Sky newsが、管理会社Crown Estateの報告を引用して伝えた。なお今年の女王一家への歳出は、前年に比べ460万ポンド増えた。しかし英王室のメンバーの公式訪問費用は100万ポンド減り、400万ポンドとなった。

英国内では、王室存続の合目的性に関し、絶えず議論がなされている。反対派の人々は「国民の税金を、はっきりとした仕事のない人達の『華麗な生活』を保障するために使うのは、いかがなものか」と考えている。

<http://bit.ly/296qQmf>

### **トルコ、イスタンブールの空港で爆発と銃撃、31人が死亡、147人が負傷（動画・画像）**

(スプートニク 2016年06月29日 08:21)

© REUTERS/ Osman Orsal <http://bit.ly/292rfDU>

トルコ最大のイスタンブール郊外にあるアタチュルク国際空港で現地時間の28日午後10時ごろ爆発と銃撃があり、31人が死亡し、少なくとも147人が負傷。トルコのボズダー法相が発表した。トルコ在住のSputnikの特派員は、2人のテロリストが保安検査場の前で爆発物を爆発させて自爆したと伝えた。

トスコのDHA通信社が伝えたところによると、ダーイシュ（IS、イスラム国、ロシアでは活動が禁止されている組織）が犯行声明を出している。公式的な声明は現段階ではまだ出されていない。

動画 <http://bit.ly/299t4C0>

監視カメラが空港の様子を撮影。

動画 <https://youtu.be/ZrCun9Msxzc>

twitter.com/ <http://bit.ly/29dUbdR>

twitter.com/ <http://bit.ly/28ZhpRY>

twitter.com/ <http://bit.ly/29aIffy>

<http://bit.ly/29mZIxE>

## **P A C E 議長—ロシア抜きで欧州の問題を解決することはできない**

(スプートニク 2016年06月29日 06:59)

◎ AP Photo/ Christian Lutz <http://bit.ly/292sli0>

欧州評議会議員会議（P A C E）のアグラメント議長は、「スプートニク」のインタビューで、ロシアとの協力なしに移民危機の解決法を見つけたり、テロとの効果的な戦いを行うのは不可能だと語った。アグラメント議長は、「ロシアとの協力なしに移民危機の解決法を見つけ、テロリズムとの効果的な戦いを行い、欧州に存在する争いの解決策を模索することはできない」と指摘した。

P A C Eは2014～2015年、ロシア代表団から投票権、法定機関の作業に参加する権利、監視団に参加する権利などの権利を剥奪する一連の決議を承認した。これを受けてロシアの議員らは2015年末までP A C Eを去った。ロシアは2016年初め、権利確認に必要な文書をP A C Eに送らないことを決めた。

<http://bit.ly/291hndd>

## **ドイツの政治家 トルコ大統領を戦争犯罪で訴える**

(スプートニク 2016年06月29日 08:42)

◎ AFP 2016/ Yuri Cortez <http://bit.ly/1Yn2J7i>

ドイツの著名な政治家や活動家らが、ドイツ最高検察庁に提出する告発状を作成した。告訴状では、トルコのエルドアン大統領やその他の同国の政治家らが、戦争犯罪で訴えられている。テレビ局ARDが伝えた。

ARDによると、エルドアン大統領の他に、ダウトオール前首相やアラ内相などのトルコの一連の政治家たちが非難されている。トルコの政治家たちは、トルコ領内のクルド人地区、特にシュルナク県ジズレでの犯罪に関与したとされている。

主な非難項目の一つは、トルコの大砲や戦車などから地下室に逃れて生きてきたまま焼き殺された178人の死。そのうちの多くは一般市民だった。

<http://bit.ly/292t6IZ>

### **ロシアの学者 糖尿病治療のための新しい方法を開発**

(スプートニク 2016年06月29日 10:32)

© Fotolia/ Bogdanhoda <http://bit.ly/299uEna>

モスクワのコリツォフ記念発生生物学研究所の専門家らは、ロシア保健省に、糖尿病治療のため膵臓の機能を回復させる方新しい方法を提供する用意がある。アンドレイ・ワシリエフ研究所長が伝えた。

ヒトの細胞の臨床研究の過程で、インシュリンを作ることのできる細胞が培養され、それをマウスに注射したところ、実験プロセスにおいて、その細胞が、血液中のグルコースのレベルに反応することが分かった。しかし、この細胞の最も驚くべき点は、自主的に膵臓に移動し、膵臓を再生させる能力にある。

<http://bit.ly/292N9bZ>

### **トルコ 撃墜したロシア空軍機のパイロットの家族に対する賠償検討の用意**

(スプートニク 2016年06月29日 14:21)

© AP Photo/ Plinio Lepri <http://bit.ly/29bjArq>

トルコのエルドアン大統領の報道官を務めるイブラギム・カルイン氏は、今日、記者団に対し「(トルコ空軍機が撃墜した)スホイ24型機のパイロット、オレグ・ペシコフ氏に関する賠償問題は、彼の親族から然るべき求めがあれば、検討されるだろう」と述べた。

この発言は、テレビNTVが生中継で伝えた。カルイン大統領報道官は、次のように述べた—

「我々は、エルドアン大統領の書簡の中に書かれているように、亡くなられたパイロットの御家族の心の痛みを少しでも軽くするために、必要な措置を講ずる用意がある。もし御遺族から、

然るべき求めがあれば、我々はもちろん、人間的見地から、それを検討するだろう。しかし今のところ、そうしたものは届いていない。」

<http://bit.ly/293CpJQ>

## トルコ空港テロ：「イスラム国」カリフ制創設2周年に合わせてか？（動画）

（スプートニク 2016年06月29日 16:23）

© REUTERS/ Goran Tomasevic <http://bit.ly/28ZBmrL>

火曜日 28日の22時頃（モスクワ時間）トルコ最大の都市イスタンブールにあるアタチュルク国際空港の駐車場の出入り口で起きた複数の爆発で、36人が死亡、147人が負傷した。

### 何が起きたのか？

目撃者は、三人の自爆テロ犯も、銃器を使用していたと証言している。犯人らは、空港での爆破テロ決行前に、銃を乱射した。旅行客の一人は「私達は、男性が無差別に銃を乱射するのを見た。彼は、自分の前にいる誰彼構わず、単に銃を向けた。彼は、全身黒ずくめで、マスクはしていなかった。」

インターネット上では、ユーザー達が、現場のビデオを公開している。そのうちの一つには、ターミナルのホールで、火が明るく燃え上がり、その後人々が、散り散りに逃げていく様子が映っている。

動画 <http://bit.ly/28ZBwPX>

### 誰が悪いのか？

悲劇の現場に駆け付けたトルコのユルドゥルム首相は、現在手元にある資料を基に「ダーイシュ（IS, イスラム国）」による犯行だと指摘している。またソーシャルネットワークのユーザー達は「ちょうど2年前の6月29日に『ダーイシュ』が、独自の法律と権力組織を持った所謂『カリフ制』創設を発表した」点に注意を促している。

twitter.com/ <http://bit.ly/29215Rn>

動画 <http://bit.ly/293D3XK>

<http://bit.ly/293eP09>

## 日米韓 北朝鮮のミサイル迎撃に向けた初の合同軍事演習

(スプートニク 2016年06月29日 16:3)

© AP Photo/ Vadim Ghirda <http://bit.ly/1P71hjk>

日米韓3カ国が、北朝鮮による核実験及びミサイル打ち上げ実験実施に関連して、北のミサイル迎撃に向けた初の合同軍事演習を行った。水曜日、韓国聯合ニュースが伝えた。演習は火曜日、ハワイ諸島沖で、コードネーム「Pacific Dragon」のもと現地時間で行われた。演習には、複数のイージス艦が参加した。日米韓3カ国の軍艦は、弾道ミサイルのシミュレーション飛行を監視し、情報を交換した。

なお今回の演習では、迎撃ミサイルの実際の打ち上げはなされなかったが、北朝鮮側は、今回の行動に直ちに反応した。水曜日、朝鮮中央通信が伝えた声明の中では「米日そして南朝鮮の行動は、挑発行為であり、アジア太平洋地域の平和と安定を乱す試みとみなされる」と述べられている。また北朝鮮外務省平和軍縮研究所のスポークスマンも声明を発表し「朝鮮民主主義人民共和国の軍と人民は、先制核攻撃の可能性を着実に高めるであろう」と言明した。

<http://bit.ly/2929RTj>

## ポーランド 英国のEU離脱を受けEU指導部の退陣を要求

(スプートニク 2016年06月29日 17:31)

© AFP 2016/ Attila Kisbenedek <http://bit.ly/29c47Ws>

火曜日ポーランドのバシユチコフスキ外相は、声明を発表し、その中で「EU指導部は、EUの統一を保てなかった責任を取って、退陣すべきだ」と述べた。ロイター通信が伝えた。バシユチコフスキ外相は「EUの政治家達は、国民の過半数がEUからの離脱に賛成した英国での国民投票を受けて、自らの過ちを認めるべきである」とし、次のように続けた—

「通常、政治の世界では、政治プロジェクトが失敗した場合、この場合は欧州の統一を守るといことだが、ゲームのルールを変えるか、あるいは他の政治家にプロジェクト改善のチャンスを与えるだろう。欧州委員会の一連の全権を、EU加盟国の首脳からなるEU最高の政治協議機関である欧州評議会に移す必要がある。」

28日、欧州議会は、緊急会議を開き、英国のEU離脱手続きを直ちに開始するよう求める決議を採択した。

<http://bit.ly/29gFpmn>

## **プーチン大統領、イスタンブールのテロを受け、トルコ国民に対する哀悼の辞を表明**

(スプートニク 2016年06月29日 19:16)

© Sputnik/ Alexei Druzhinin <http://bit.ly/296UmsY>

プーチン大統領はトルコのイスタンブールで起きたテロ事件を受け、29日、トルコ国民に対する哀悼の辞を表明。事件では最新の情報では36人が死亡、147人が負傷している。「我々は昨日起きたテロの犠牲者を残念に思い、かわいそうに思う。」プーチン大統領は大祖国戦争を記念し、ロシアと独の高校生らを集めた初の会合の席で子どもたちに対してこう語った。

プーチン大統領は子どもたちに対して、こうしたプロジェクトはトルコで起きテロのような「悲惨なことが起きないように環境をも作り出すものだ」と語っている。現在、プーチン大統領とトルコのエルドアン大統領の間では電話会談が実施されている。

<http://bit.ly/29r9tL3>

## **現在、プーチン大統領とトルコ大統領は電話会談中—大統領報道間**

(スプートニク 2016年06月29日 19:39)

© Sputnik/ Vladimir Astapkovich <http://bit.ly/29b5m9q>

プーチン大統領は現在、トルコのエルドアン大統領と電話会談を実施中。ペスコフ大統領府報道官が記者団に明らかにした。ペスコフ報道官は首脳会談の結果をマスコミに発表すると約束。これより前、トルコの新聞「クムフリエット」はロシア・トルコ両首脳がイスタンブール空港のテロ事件についても討議するものと予想されると報じていた。

<http://bit.ly/29c5wfK>

## **イスタンブールでのテロ ロシアとの関係正常化を試みるトルコ政府への復讐か？**

(スプートニク 2016年06月29日 20:08)

© AFP 2016/ Ozan Kose <http://bit.ly/29e3LAI>

「28日、イスタンブールの空港で起きた爆弾テロ事件は、ロシアやイスラエルとの関係確立を試みるトルコ政府に向けられたものだ」—ロシア議会上院・連邦会議国際問題委員会のコンスタンチン・コサチョフ委員長は、そうした見解を示している。コサチョフ委員長は、Facebookの自分のページ上に、まずテロの犠牲者の親族に心からのお悔やみと同情を述べた後で、次のように書き込んだ—

[facebook.com/](http://facebook.com/) <http://bit.ly/29gH1wx>



「テロは、明らかに、ロシア及びイスラエルとの関係確立に向けたトルコ指導部の試みに反対してなされたものだ。あらゆることから判断して、トルコは、まず何よりもロシアの外交努力によって創設されつつある統一反テロ戦線形成に参加しないよう警告を受けている。原油買い付け、あるいはテロ組織への医学治療やリハビリテーション、訓練場所の供与などを含め、テロリストらへのどんな援助も、トルコ自身にとって、ますます危険になっている。」

このように述べたコサチョフ委員長はまた、テロがロシアとトルコ首脳による対話延期につながることはないとの確信を明らかにした。

<http://bit.ly/2961aVQ>

### 沖縄はこの不幸に独りで立ち向かわねばならないか？

(スプートニク 2016年06月29日 21:32) タチヤナ・フロニ

© AFP 2016/ JIJI PRESS <http://bit.ly/29gGMBE>

酒に酔った米軍兵士が沖縄の基地の外でやらかす不快な事件が後を絶たないにもかかわらず、6月はじめに米国が発動した「禁酒法」は解除された。米軍司令部はここ数週間、日本全土にいる米海兵の行動はすばらしいものだったと見なした。ところが週末日曜、再び軍属の飲酒運転による交通事故が発生した。警察が逮捕した軍属からは基準値を超えるアルコールが検出されている。

6月、沖縄で起きた抗議行動では住民らは決議を採択した。決議には沖縄が日本の主権へと返還された1972年以降、米軍人らが沖縄諸島で犯した6千件あまりもの犯罪が記載された。しかもこうした犯罪のなかには「重犯罪」と見なされたものもある。最近立て続けに起きた犯罪事件のあと、沖縄県民は本当に自分たちの抗議が聞き入れられるものと期待した。菅官房長官でさえ、沖縄県民の要求にそって日本の米軍基地の地位の見直しに関して迅速かつ降下的な措置が採られるような約束さえ行なった。ところがなんと菅長官の声明は実際の行動には現れず、空中に溶けてなくなった。一月もたたぬうちに米軍兵に課されていた戒厳令と禁酒という制限措置も解かれてしまった。しかも日本政権はこうした決定に抵抗さえしめそうとはしなかった。米軍兵の起こす事件に憤慨しても無駄だと沖縄県知事が見なしたのも驚きには値しない。沖縄県知事は米国は今までも規律強化、事件の発生防止のために全力を尽くすと繰り返してきたものの、事件は決して後を絶たないと声明している。

モスクワ国際関係大学で教鞭をとる日本専門の政治学者ドミトリー・ストレッリツォフ氏は次のような考察を表している。

「日本政府ははじめから取っている路線というのは、沖縄での事件を見ぬふりをするというわけではないものの、ある種、除去するというものだった。つまり社会の反応の隅に追いやってしまうというものだ。そして今回も政府は当初はネガティブな反応をアピールしていたものの、やはりさっさと後ずさりしてしまった。この裏には日本政府と沖縄県のいさかいがある。沖縄

県はいくつかの問題において中央政権に反対する姿勢をとり始めた。沖縄県知事選挙では普通、沖縄からの米軍基地の撤廃に賛同する候補者が選出されるのも偶然のことではない。だが問題は解決されない。このため沖縄県民は自分たちはなにがしか差別されており、日本国民ではないとまで感じている。反戦組織や世論の一部は沖縄県の肩を持ってはいるが、日本国民の大半はこの問題に激しい反応を見せることはない。このため、日本国民には沖縄県民への連帯感がないのではないかと思わせることもしばしばある。」

沖縄の住民の堪忍袋の緒はもう切れる寸前にある。6月も再び、艱難辛苦を味わう沖縄からの米軍基地撤廃を求める大規模抗議行動が起きている。だがストレリツォフ氏は、日本における米軍基地の地位の変化は期待はできないとして、さらに次のように語っている。

「米国にとっては日本におけるプレゼンスは東アジアにおける米国の安全保障戦略のキーとなるものだ。このためこの状況で沖縄の米軍基地の地位に原則的な変化は期待できない。というよりむしろその逆で、近い将来に日本の米軍基地はアジア太平洋地域の全体状況、つまり中国と北朝鮮というファクターというコンテキストにおいて新たな弾みを得るだろう。このため日本政府は沖縄住民のネガティブな世論を考慮しても駐日米軍基地の地位を変えるというようなラディカルな方策には出ないだろうと思う。米軍に行動を自制して欲しいという沖縄県民の願いも実現することはまずないだろう。」

<http://bit.ly/2946MSM>

## キャメロン首相 Brexit 派勝利の理由を説明する

(スプートニク 2016年06月29日 19:52)

© AFP 2016/ Geoff Caddick <http://bit.ly/29620Sf>

辞任を表明している英キャメロン首相は、英国のEU離脱（Brexit）の是非を問う国民投票でBrexit派が勝利した理由を説明した。キャメロン首相はブリュッセルで開かれたEU首脳会議で、投票結果は、欧州からの移民流入を英国が管理できないという国民投票の参加者たちの懸念を明確にしたと述べた。スカイ・ニュースが伝えた。

キャメロン首相の前に演説したドイツのメルケル首相は、もし英国がEUの共同市場へのアクセスに期待しているのであれば、「英国は義務も負わなければならない、そこには労働者の移動の自由に関する義務も含まれる」と述べた。一方でフィナンシャル・タイムズ紙によると、キャメロン首相はEU加盟国の首脳らとの夕食会で、「それがたとえ英国にとって共同市場へのアクセスを失うことを意味することになったとしても、英国はEUからの大勢の移民を受け入れ続けることはできないと警告した」という。

<http://bit.ly/296sJlv>

## ロシアはトルコへの観光制限を解除するープーチン大統領

(スプートニク 2016年06月29日 21:52)

© Sputnik/ Sergey Guneev <http://bit.ly/299hLsP>

プーチン大統領は政府に対し、トルコのエルドアン大統領との電話会談を総括し、対トルコ関係の正常化プロセスの開始を伝えた。

プーチン大統領は政府閣僚との会議の冒頭、「トルコ大統領がわれわれに宛てた書簡のあと、トルコとのパートナー関係の正常化プロセス開始の決定が採られた」と述べ、「もちろん、会談ではまず私はトルコ大統領、トルコの国民に対してイスタンブールでのテロ事件に関して哀悼の意を表した」と語っている。

プーチン大統領は「我々の二国間関係に関しては、観光問題から開始したいと思う。とはいえテロが活発化しているなか、これはどうかとも思うが、いずれにせよこの分野の行政上の制限措置は取り払う」と語り、「ロシア連邦政府にはトルコとの貿易経済関係全体の正常化プロセスを開始するようお願いしたい」と付け加えた。

<http://bit.ly/29c7tbN>

## プーチン、エルドアン両大統領が直接的な会談へ合意

(スプートニク 2016年06月29日 21:30)

© REUTERS/ Ivan Sekretarev/Pool <http://bit.ly/294QAwS>

プーチン大統領とトルコのエルドアン大統領は電話会談で直接的な会談を行うことで合意。トルコ大統領府報道部が明らかにした。

プーチン大統領はエルドアン大統領に対し、昨日イスタンブール空港で起きたテロ事件に関して哀悼の意を表した。トルコ大統領府報道部の発表によれば、会談では二国関係の正常化について触れられ、二国間の協力の重要性が強調された。

両首相は昨11月、トルコのアンタルヤでのG20サミットの席以来、会談を実施してこなかった。この会談の数日後、ロシアの爆撃機スホイ24がシリア上空でトルコの戦闘機によって撃墜。プーチン大統領はこれをテロリストの共犯者らによる「背信行為」だとし、トルコに対して一連の制裁を発動した。

その後、アルパルスラン・チェリクがパイロット殺害に関与したとの声明を表した。4月初旬、チェリク容疑者はトルコのイズミルで武器の不法所持容疑で逮捕された。容疑者は取り調べで、ペ

シコフ氏を銃撃したのは自分ではないが、戦闘グループの司令官としてその責任を負ったと主張した。イズミル検察庁は、「証拠不十分」としてチェリク容疑者に対するペシコフ氏殺害の訴追を取り下げたが、6月27日に予審判事が審理を再開した。

また27日、トルコのエルドアン大統領がプーチン大統領に書簡を送り、スホイ24型機の撃墜について謝罪し、パイロットの家族に哀悼の意を表したほか、トルコはロシアとの関係が損なわれるのを望んでいないことを明らかにした。

<http://bit.ly/296tt9Z>

### **ロシア クリルの島での軍事基地建設開始時期を発表**

(スプートニク 2016年06月29日 23:37)

◦ Sputnik/ Roman Denisov <http://bit.ly/1tbbbZk>

クリル諸島のマトゥア島における太平洋艦隊の新たな海軍基地の建設が、すでに2016年に始まる。通信社「スプートニク」に軍消息筋が伝えた。第二次世界大戦時、マトゥア島には日本の軍部隊が駐屯していた。2016年5月、ロシア国防省とロシア地理学協会が調査作業のためにマトゥア島へ調査隊を派遣した。島では複数の狭軌鉄道プラットフォームや鉄道路盤の要素が見つかった。先に伝えられたところによると、調査隊はマトゥア島のドヴォイナヤ湾沿岸で、大祖国戦争時代のものとみられる日本の航空機を発見した。

<http://bit.ly/295EGoL>

### **フランス外務省 「スーパー欧州国家」プロジェクトに関する報道を否定**

(スプートニク 2016年06月30日 06:05)

◦ Flickr/ francdiplomatie <http://bit.ly/296WAZ9>

ポーランドの複数のマスメディアは「スーパー欧州国家」プロジェクトが発表されるとのニュースを配信したが、フランス外務省のナダル報道官は「そうした報道には根拠がない」と一蹴した。ナダル報道官は「そうした発言は、根拠のないものだ。フランスとドイツの大臣は、英国での国民投票の結果について話しあうたに過ぎない」と述べた。先にポーランドのテレビ局TVPは「フランスとドイツは『スーパー欧州国家』プロジェクトを準備している。これは、欧州を一つの国家とするもので、現時点でEUにおける最強国に従属するものである」と報じた。

<http://bit.ly/296uuyR>

## 制裁を背後にした露日の協力、そのころは…「活発な低木の育つ北極の夏」

(スプートニク 2016年06月30日 06:36 リュドミラ・サーキャン)

© Fotolia/ Irinabal18 <http://bit.ly/294SgGU>

日本のビジネスのやり方だと前もってプランを公表しないように努め、競争を恐れて投資活動を口外することは好まない。だが駐日ロシア通商代表部のセルゲイ・エゴリエフ首席代表は、日本企業は制裁という条件下でも新たなプロジェクトを模索、準備していると語る。

「RosRAO」率いるロシア企業のグループによって構築された福島トリチウム除去のためのテスト設備。

「日本の企業でも我々のパートナーとなる会社には2つのタイプがある。1つは戦後から協力関係を結んでいるもので、三井物産、三菱商事、丸紅、住友商事、伊藤忠、双実、そしてトヨタ通商もそうだが、総合貿易投資会社だ。これらは大きな経験を有し、状況を実に見事に把握できるし、クローズ状態で進められているプロジェクトを多く抱えている。もうひとつのカテゴリーは以前はロシアとの通商関係をもたなかった企業で、2012年末、安倍内閣が発足し、対露関係の強化路線が採られたときから日本企業の代表部が独自のアイデア、プロジェクトをもって怒涛のようにロシアに押し寄せた。これらは主に中規模の生産会社でユニークな技術を有している。だがこうした事業体はいわゆる『新聞の見出し』に過敏に反応するために日本が対露制裁を発動したとたん、プロジェクトを放り出してしまった。というわけで日本との経済関係の状態を全体として性格づけると、まあ『活発な低木の育つ北極の夏』というところだろうか。」

活発な姿勢の例は少なくない。先日も沿海地方を農林水産省の梶島達也参事官（環境・国際）を団長とする代表緒団が訪れた。視察の目的は沿海地方産の穀物の日本向け輸出の品目を拡大し、農業、水産加工業の合弁企業を設立し、魚加工工場、漁港向けの近代的な冷蔵設備の建設についての交渉だった。梶島参事官は日本の実業界がロシア極東に抱く関心は前代未聞の大きさと評価し、日本政府としてはこの状況を利用して合同作業への道をしきたいと抱負を表した。

極東の先進発展領域（TOR）、ウラジオストク自由港において日本企業が発案するプロジェクトについては極東発展省のサイトに掲載されている。そのひとつがサハ（ヤクート）共和国にあるカンガラスィTORにおいて日本の技術を用い、年間を通した温室栽培施設の建設だ。これはすでに実現の初期段階にある。発案し共同出資者となったのは「北海道コーポレーション」。第1段階は温室の基礎づくりですでに開始されている。建設作業は9月にも終了予定で12月には最初の収穫ができる。2021年までに企業はフル稼働に達し、年間で最高2,200トンの野菜生産が見込まれている。

東成の子会社はウラジオストク自由港で日本、アジア太平洋諸国向けの海上輸送のために鉄道でここへと運ばれる石炭の自動積み出し設備の製造に加わるため、港でのレジデンス権取得要請を提出した。この会社の投資額は600億ルーブルを超える。設備の年間の処理能力は試算で2,000万ト

ン。

先日、マガダン州を日本の代表団が視察した。その目的について団長を務めた独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構のホリグチ・シンヤ氏は、日本政府はロシア領内で資源採掘を行なう合弁企業の地質調査、プロジェクト作業に財政援助を行なう構えだとし、そのためにマガダン州をはじめとする地域で協力が行なえるパートナーを探していると語った。

駐日ロシア通商代表部のエゴリエフ首席代表は、露日の二国間協力におけるエネルギーは少なくともこの先 10 年は筆頭部門だと語る。だが従来の炭化水素のほかにも将来は液化天然ガス、バイオ燃料、水素エネルギーなどに関連したプロジェクトが筆頭に上がってくる可能性がある。水素エネルギー分野では「RAO ES ヴォストーク」、「ルスギドロ」、川崎間ですでにマガダン州での液化水素生産のパイロットプロジェクトの実現に関するメモランダムが調印された。

<http://bit.ly/2971jYr>

## ロシア 中国向け原油輸出量でトップに

(スポーツニク 2016 年 06 月 30 日 07:09)

© Flickr/ Sergio Russo <http://bit.ly/1UwUjo8>

ロシアは 1 月－5 月の中国向け原油輸出量で世界 1 となった。輸出量は 41.8% 増加して 2,216 万 9,000 トンとなった。中国の税関が伝えた。第 2 位はサウジアラビア (2,188 万 5,000 トン)、3 位はアンゴラ (1,851 万トン) だった。中国向け石油製品輸出量のトップは韓国。韓国の輸出量は 20.6% 増えて 390 万トンとなった。2 位はシンガポールで 193 万 9,000 トン、3 位はロシアで 125 万 1,000 トンだった。

<http://bit.ly/2949vM0>

## 韓国 Google マップに自国の軍事施設を示すのを拒否

(スポーツニク 2016 年 06 月 30 日 08:01)

© Flickr/ Noah Scalin <http://bit.ly/lqgsmHP>

29 日、韓国の韓民求 (ハンミング) 国防相は「我々は、わが領土にある重要な軍事施設について修正が加えられないうちは、Google が韓国地図を利用するのを許すわけにはいかない」と述べた。

先に 6 月 Google は、韓国政府に対し、インターネットにおける地図の検索システムのレベル向上のため、韓国地図の利用許可を求めた。

Google が、韓国政府に対し、そうした許可を求めたのは今回で 2 度目で、2010 年にも試みたものの失敗に終わっている。なぜなら韓国当局は、重要な情報が北朝鮮軍の手に渡ることを懸念しているからだ。

現在、韓国と北朝鮮の関係は、朝鮮戦争（1950～1953）以来、最悪の状態にある。なおこの戦争は、現在に至るまで休戦中であって、公式的には終わっていない。北朝鮮当局は、積極的に、核兵器を開発し、韓国領内にある米軍基地や韓国政府の施設に先制核攻撃加える可能性があるると脅迫している。

<http://bit.ly/29e9cz6>

### **ロシアと日本 サハリン航路再開へ**

（スプートニク 2016 年 06 月 30 日 09:05）

◎ Sputnik/ Vladimir Fedorenko <http://bit.ly/294ao7r>

日本は、北海道稚内港とロシア極東サハリン南部コルサコフ港とを結ぶ客船を 7 月 25 日から 9 月 16 日まで運行する契約をロシア側と結ぶ方針。共同通信が 29 日、報じた。共同通信によると、16 往復 32 便を運航する予定で、ドミニカ船籍の定員 80 人の客船が使用されるという。

コルサコフ港と稚内港を結ぶ航路が開設されたのは 1999 年。2015 年に運行会社は採算がとれず同航路から撤退した。サハリン州政府によると、2015 年の利用者は 4,000 人以上で、192 トンの貨物が運ばれた。

<http://bit.ly/29rgYBR>

### **世論調査によれば仏国民の 45%が E U 離脱に関する国民投票実施を欲す**

（スプートニク 2016 年 06 月 30 日 11:11）

◎ Flickr/ looking4poetry <http://bit.ly/29cbbCr>

世論調査会社 TNS Sofres が実施した調査データによれば、フランス国民の 45%が、E U からの離脱の是非を問う国民投票の実施に賛成しており、反対は 44%で、賛否は拮抗している。新聞フィガロが伝えた。

また英国での国民投票について、調査に参加したフランス人の 45%が、結果に失望したと答え、36%が満足したと回答した。その際フランス人の多数、58%が、英国人の離脱決定には驚いていないとしている。

さらに 48%のフランス人が、今回の出来事は、EUの将来に否定的影響を与えていると考えている。

それ以外に、フランス人がEU内部の改革を求めていることが分かった。たとえば 55%が、加盟各国の自治をもっと拡大するよう求めている。一方統合強化を望んでいるのは、25%に過ぎない。

<http://bit.ly/294b3Wh>